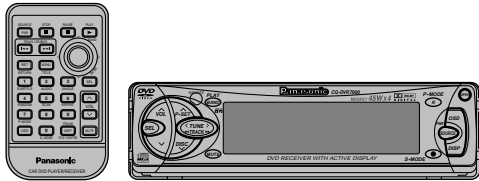


# Panasonic

アクティブディスプレイ  
DVD サウンドステーション

## 取扱説明書



品 番

# CQ-DVR7000D



### 保証書別添付

このたびは、パナソニック カーオーディオをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。  
この取扱説明書と保証書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

そのあと保存し、必要なときにお読みください。

保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

ご使用前に

使う

使いこなす

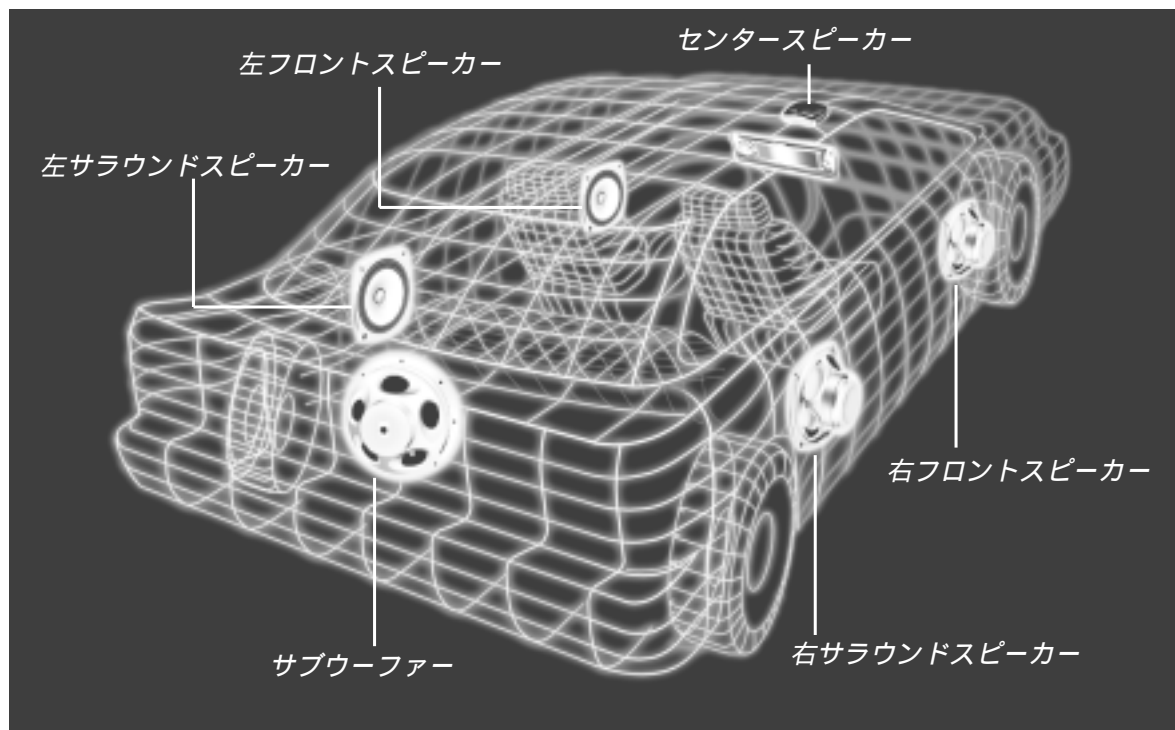
必要なときに

# 特長

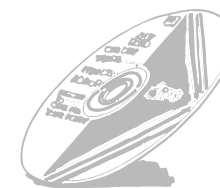
## 5.1ch サラウンド再生 (DVD ビデオ) 対応

センター (1ch) / フロント (2ch) / サラウンド (2ch) のアンプを搭載し、新開発 AV デコーダーが標準装備されているので、センタースピーカー、サブウーファー (0.1ch)、TV モニターとシステムアップするだけで、ドルビーデジタルの 5.1ch サラウンド再生が可能です。

左右だけでなく、前後や斜め方向にも立体的な音の移動が感じられ、まるで映画のシーンに居合わせたかのような迫力のある音像を再現します。



## 再生できるディスク



ディスク	マーク (ロゴ)	ディスクの大きさ	映像方式	リージョン番号
DVD ビデオ		12 cm	NTSC	2 ALL
ビデオ CD		8 cm	NTSC	
CD				

### リージョン番号

DVD ビデオには、発売地域ごとにディスクとプレーヤーに割り当てられたリージョン番号があります。ディスクとプレーヤーのリージョン番号が一致しないと再生できません。

本機のリージョン番号は、「2」なので、ディスクに「2」(または2を含むもの)と「ALL」が表示されているディスクが再生できます。



### 本機で再生できないディスク

DVD オーディオ  
リージョン番号が「2」「ALL」以外の DVD ビデオ  
PAL 方式で記録されたディスク  
DVD-ROM DVD-RAM DVD-R DVD-RW DVD+RW  
dts DVD CD-ROM CD-G CD-R CD-RW dts CD  
VSD CVD CDV SVCD SACD  
フォト CD Divx Video ディスク CD-EXTRA など  
「CD-R」「フォト CD」を再生すると、ディスクの内容が壊れる恐れがあります。  
「dts CD」を再生しても、正常な音声を再生できません。

### お知らせ

DVD ビデオ / ビデオ CD には、ディスク側の制約により、本書の操作説明通りに動作しないものがあります。ディスクのジャケットなどもご参照ください。  
DVD のカラオケ機能には対応しておりません。

ご使用前に

## ご使用前に

特長	2
安全に正しくお使いいただくために	6
付属品の確認と準備	9
本書の読みかた	10
各部のなまえとはたらき	12
本体	12
リモコン	14
操作の流れ	16
スピーカーの準備	17
使用するスピーカー	17
各スピーカーの有無・大きさを設定する	19
各スピーカーの音が聴取位置に届くタイミングを調整する	20
各スピーカーの出力レベルを調整する	21
スピーカー出力を合成する(ダウンミックス)	21
共通の操作	22
時計を調整する	23
ラジオを聴く	24
表示を切り替える	24
放送局を記憶させる	25
記憶された放送局を呼び出す(プリセット受信)	25
ディスクを再生する	26
ディスクを出し入れする	26
再生する	26
表示を切り替える	27
再生を止める	27
メニューを選ぶ	28
頭出しする	28
早送り/早戻しする	29
一時停止(静止)する	29
繰り返し再生する(リピート)	29
好みのタイトル/チャプター/トラックから再生する(ダイレクト選択)	30
スロー再生する	30
一時的に音量を下げる(ミュート/アッテネータ)	30
OSD(オンスクリーンディスプレイ)を表示する	31
字幕言語を切り替える [SUBTITLE]	32
音声言語を切り替える [AUDIO]	32
音声(ステレオ/モノラル)を切り替える [AUDIO]	32
角度(アングル)を切り替える [ANGLE]	33
DVDメニューを使う [MENU]	33
タイトルメニューを使う [MENU]	33
チェンジャーでCD/MDを聴く	34
表示を切り替える	34
曲を探す(スキャン)	35
繰り返し聴く(リピート)	35
順不同で聴く(ランダム)	35
2台のチェンジャーで聴く(ツインチェンジャー)	35

## 使いこなす

初期設定を変更する	36
メニュー言語	37
字幕言語	37
音声言語	37
アスペクト比の設定	38
映像サイズの設定	38
オンスクリーンメッセージ設定	38
音声出力レベル設定	39
小音量で聴きやすい音にする	39
サウンドモードを選んで聴く	40
信号フォーマット表示	40
音場効果を加えた音で聴く	41
サラウンドサウンドで聴く	41
音質(サウンド)を設定する	42
LOUDNESSを設定する	43
低音域を調整する(バス)	43
高音域を調整する(トレブル)	43
前後左右の音量バランスを調整する(バランス/フェダー)	45
センタースピーカーの音量を調整する	45
サブウーファーの音量を調整する	45
その他の機能を設定する	46
ナビゲーションの音を聴きやすくする(ナビミュート切り替え)	47
ミュート(ATT)ボタンの機能を選ぶ(MUTEボタン設定)	47
本機のディスプレイの表示を調整する(コントラスト)	47
本機のディスプレイの明るさを調整する(ディマー)	49
セキュリティ機能を使用する	49
タイトルを流して表示させる(タイトルスクロール)	49
前と後で別々のソースを楽しむ	50
プライベートモードを設定する	50
パネルの脱着のしかた	52
お手入れ/ディスクの取り扱い	53
故障かな!?	54
取り付け・配線の前に	59
取り付けかた	60
配線のしかた	62
用語解説	66
言語番号表	67
仕様	68
アフターサービスについて	70

## 必要なときに

# 安全に正しくお使いいただくために

必ずお守りください。

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。



## 警告

この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。



## 注意

この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。  
(下記は、絵表示の一例です。)



このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。



この絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。



## 警告

### 運転者は走行中に操作をしない また画像を注視しない



禁止

走行中の操作や画面の注視は、前方不注意による交通事故の原因になります。  
安全な場所に停車し、操作してください。

### 取り付け・アース配線等に、保安 部品を使わない



禁止

ステアリング・ブレーキ系等の保安部品のボルト・ナット・ビスを使用すると、事故の原因になります。説明に従い、付属品をご使用ください。



## 注意

### 取り付け・配線は、専門技術者に 依頼する



本機の実取り付け・配線には、専門技術と経験が必要です。安全のため、お買い上げの販売店にご依頼ください。

### ヒューズの交換は、専門技術者に 依頼する



規定以外のヒューズを使用すると、発煙・発火、故障の原因になります。ヒューズの修理や交換は、お買い上げの販売店にご依頼ください。

### 分解や改造をしない



分解禁止

分解や改造、コードの被覆を切って他の電源を取るのはやめてください。発煙・発火、感電や故障の原因になります。

### 配線作業中は、バッテリーの ⊖端子を必ずはずす



説明に従って正しく配線しないと、ショートによる感電やけが、および発火や故障の原因になります。

### 故障や異常のまま使用しない



禁止

音が出ない、煙が出る、変なにおいがする等の異常な状態で使用すると、発火や感電の原因になります。ただちに使用を中止してお買い上げの販売店にご相談ください。

### DC12V⊖アース車で使用する



本機はDC12V⊖アース車専用です。大型トラックや寒冷地仕様のディーゼル車など(DC24V車)には使用できません。ショートして発火や故障の原因になります。

### 機器内部に異物を入れない



禁止

内部に金属物や燃えやすい物等の異物が入ると、ショートや絶縁不良で発熱し、発火、および感電や故障の原因になります。特に乳幼児にご注意ください。

### 水をかけたり、ぬらしたりしない



禁止

内部に水が入るとショートや絶縁不良で発熱し、発火・感電・故障の原因になります。洗車や雨のときに水がかからないようにご注意ください。

### 可動部に手・指を入れない ディスク挿入口に異物を入れない



禁止

可動部に手・指、挿入口に異物を入れると、けがや故障の原因になります。特に乳幼児にご注意ください。

### 適正な音量で使用する



車外や周囲の音が聞こえない状態での運転は、事故の原因になります。

## ⚠ 注意

### 特殊形状のディスクやディスクアクセサリは使用しない



禁止

ハート型や八角形など特殊形状のディスクや、プロテクトフィルムやスタビライザーなどのディスクアクセサリを使用すると、故障の原因になります。

### 運転や乗り降りを妨げたり、破損しないようにコードを引き回す

運転や乗り降りを妨げられると、事故やけがの原因になります。  
コードが傷んだまま使用すると、ショートや断線により、発火や故障の原因になります。



傷つける、無理に引っ張る、折り曲げる、ねじる、束ねる、加工する、熱器具へ近づける、重いものをのせるなどしない。  
車体やねじ、およびシートレールの可動部にはさみ込まないよう整形し、固定する。  
ステアリング・シフトレバー・ブレーキペダル・足等に巻き付かないよう、引き回す。

### 電池は正しく扱う

電池を正しく扱わないと、破裂や液漏れによる発熱・発火、けがや故障、および周囲を汚染する原因になります。



電池は極性表示(⊕と⊖の向き)を確かめて、指示どおりに正しく入れる。  
指定外の電池を使用しない。  
使い切った電池は、すぐに交換する。  
リモコンを長時間使用しないときは、電池を取り出しておく。  
電池を廃棄、または保存するときは、テープを巻き付けたリビニール袋などに入れて絶縁する。  
充電・ショート・分解・変形・加熱、火や水の中に入れる、金属物と接触させるなどしない。  
窓を閉めきった車の中、車のトランクの中、直射日光の当たるところ、ヒーターの近くなど、著しく温度が高くなるところに電池や電池の入ったリモコンを放置しない。  
乳幼児の届くところに置かない。万一飲み込んだ場合は、すぐに医師にご相談ください。

### 電池を廃棄する場合は

地方自治体の条例などに従って処理してください。

万一不備な点がございましたら、お買い上げの販売店へお申し付けください。

### 主な付属品

リモコン



リチウム電池



(CR2025)

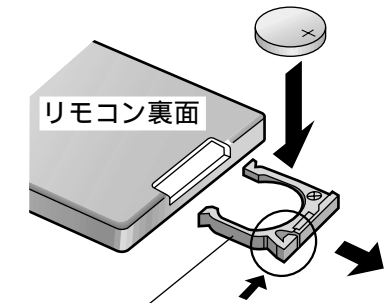
配線・取り付け用の部品は、59ページをご覧ください。

### 添付品

取扱説明書  
保証書  
お客様ご相談窓口一覧表

### リモコンに電池を入れる

#### ① 電池ケースを出して、電池を入れる



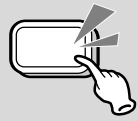
#### ② 電池ケースを入れる カチッと音がするまで入れてください。

### 使用する電池

使用電池：パナソニック リチウム電池(CR2025)  
電池寿命：通常の使用状態で約6ヶ月(常温時)

# 本書の読みかた

本書では以下のような固有のマークや説明方法を用いています。



ボタンを押します



一定時間ボタンを押し続けます

ボタンを押すたびに、表示内容が切り替わることを示しています。

本書はリモコンでの操作を中心に説明しています。本体で操作するときは、こちらを参照してください。

操作や設定に関する詳細情報を示しています。

背景にこのような灰色の囲みのあるページは、基本ページとして各操作の流れを説明しています。まず基本ページで操作手順等を理解したのち、それぞれの項目をお読みください。

本体のみで操作することを表示しています。



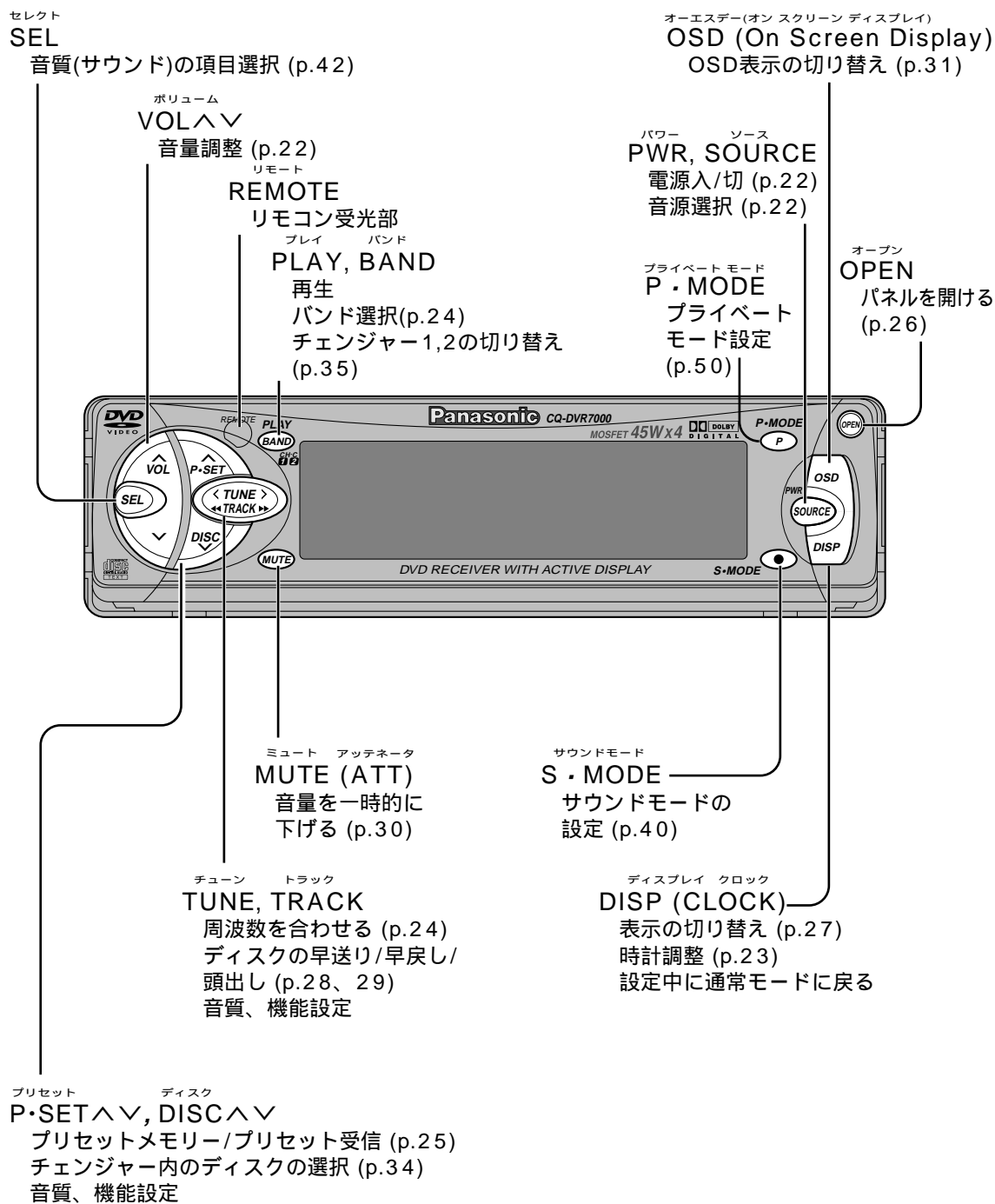
それぞれの操作で対応するディスクを示しています。



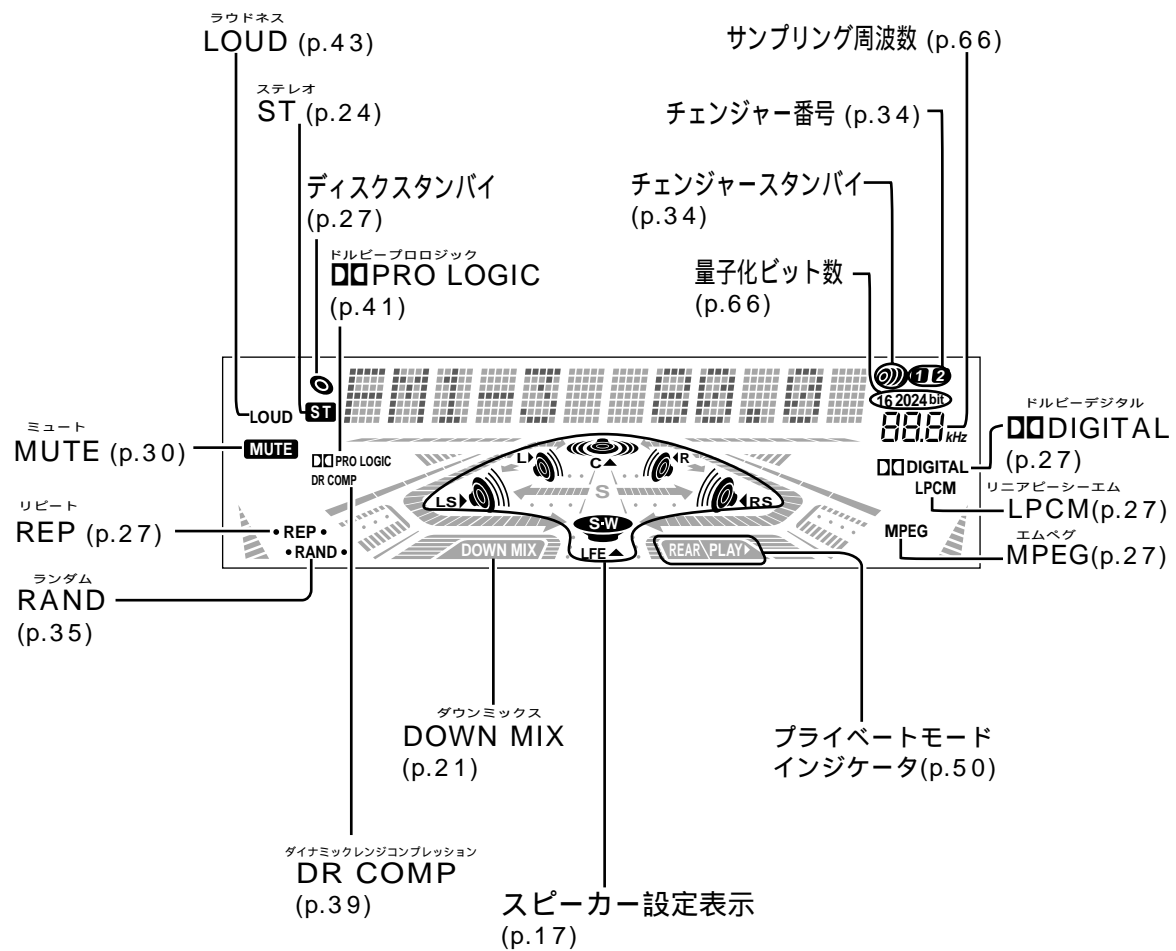
# 各部のなまえとはたらき

## 本体

### 前面部



### ディスプレイ部

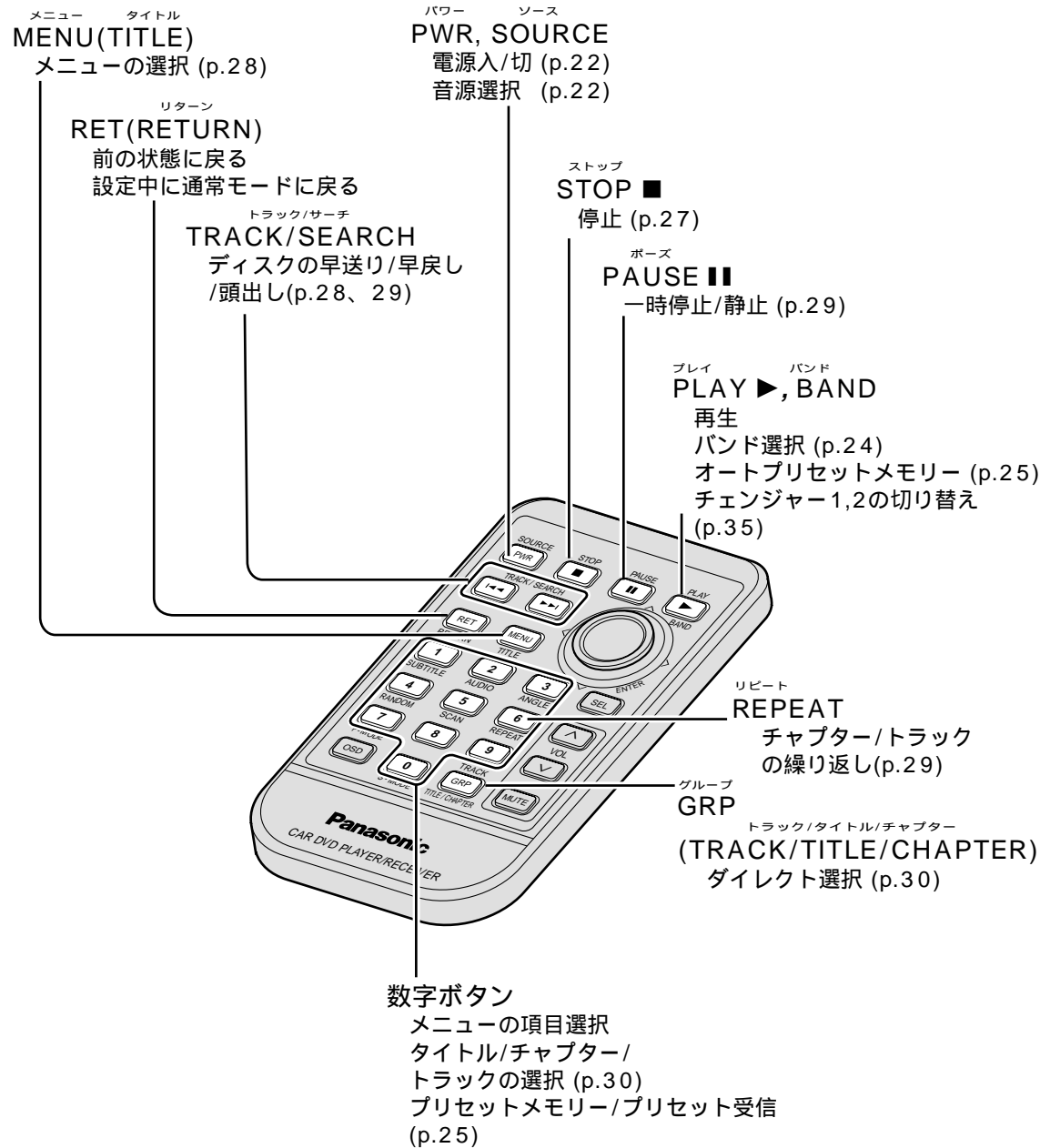


ご使用前に

# 各部のなまえとはたらき

## リモコン

本体のREMOTE (リモコン受光部) に向けて操作してください。  
リモコンは、停車して明るい場所で操作してください。

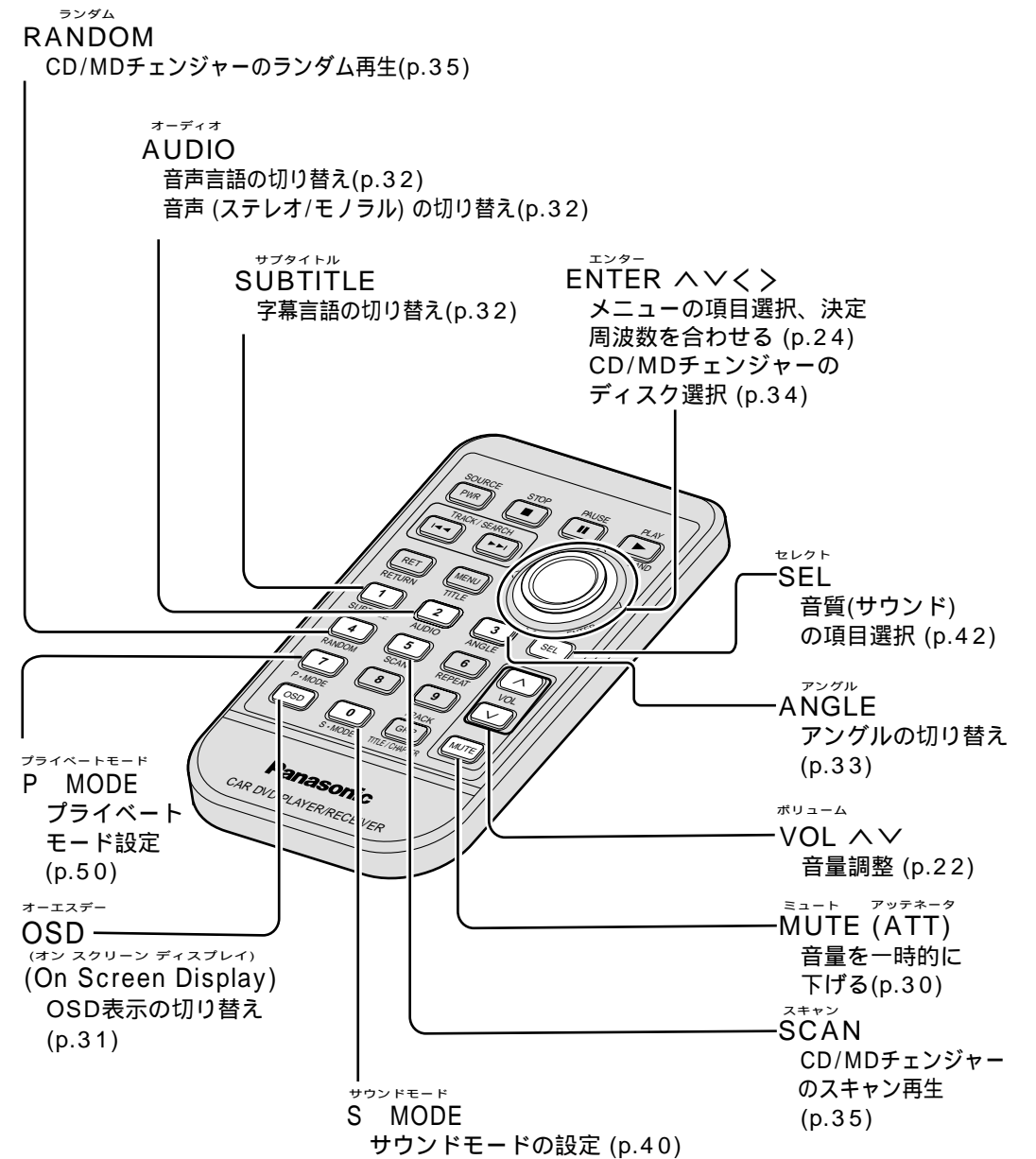


### お知らせ

リモコンには下記のボタンがありません。  
本体で操作してください。

ディスプレイ DISP、オープン OPEN、イジェクト ▲ (⇒26 ページ)

### 左記以外のボタン





ご使用前に

## スピーカーの設定

(17 ~ 21ページ)

スピーカーの有無・大きさ、出力などを調整します。  
初めてお使いになるとき、または新たにスピーカーを追加したときには、必ずこちらからお読みください。

使う

## 基本操作

(22 ~ 35ページ)

電源の入/切やディスク再生のしかたなど、基本的な操作の説明をしています。

使いこなす

## 初期設定の変更

(36 ~ 39ページ)

DVDを再生するときの字幕言語や音声言語などの初期設定を、お好みに応じて変更したいときにお読みください。

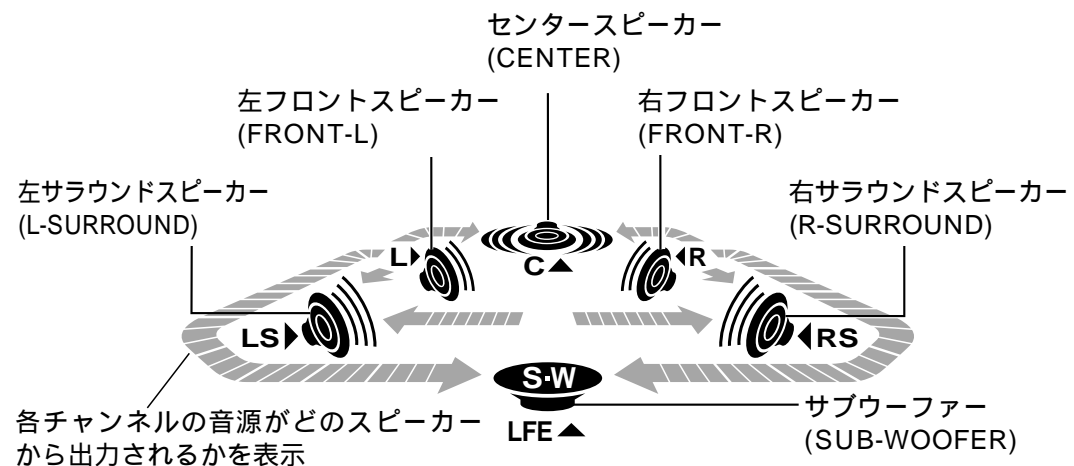
## 各種設定の変更

(40 ~ 51ページ)

初期設定以外にも色々な設定(サウンドモード設定、プライベートモード設定、コントラスト調整、ディマー調整など)があります。必要に応じてお読みください。

## 使用するスピーカー

スピーカー設定に応じて、本機のディスプレイにスピーカーが表示されます。



**フロントスピーカー**  
運転席と助手席のドア埋め込み型のスピーカーを使用します。

**サラウンドスピーカー**  
車後部の左右スピーカーや後部埋め込み型のスピーカーを使用します。

**センタースピーカー**  
別売のセンタースピーカーが必要です。車のセンターコンソール付近、またはダッシュボードの中央近くに設置します。

**サブウーファー**  
音の方向性が他のスピーカーほど設置する位置に左右されないため、お好みの場所に設置して使用します。別売のサブウーファーとサブウーファー用アンプが必要です。

## スピーカー表示について (例：センタースピーカー)

	スピーカーの有無・大きさを「Large」に設定したとき(☞ 19ページ)
	スピーカーの有無・大きさを「Small」に設定したとき(☞ 19ページ)
表示なし	スピーカーの有無・大きさを「None」に設定したとき(☞ 19ページ)

# スピーカーの準備

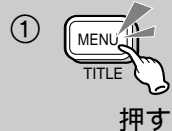
サラウンドを正確に再現するために、以下の手順でスピーカーの設定・調整をおこなってください。

- 準備**
- ① ディスクを入れる (⇒26 ページ)
  - ② STOP を押す (⇒27 ページ)



ボタンを押すことを示しています。

## 1 メニューを選ぶ



<Main Menu>	
1. Menu Language	: Japanese
2. Subtitle Language	: Japanese
3. Audio Language	: Japanese
4. TV Aspect	: 16:9
5. TV Mode (4:3)	: Pan&Scan
6. On-Screen Messages	: ON
7. Audio Output Level	: 3
8. D. Range Compression	: OFF

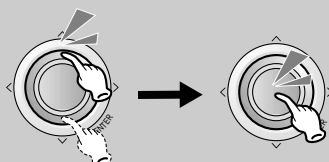
1 ページ目のメインメニュー表示



<Main Menu>	
1. Speaker Type C	: None
2. Speaker Type L/R	: Large
3. Speaker Type LS/RS	: Large
4. Speaker Type SW	: Yes
5. Speaker Delay C	: 0.0msec
6. Speaker Delay LS/RS	: 5.3msec
7. Speaker Level	: 3
8. Down Mix	: OFF

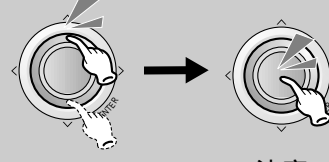
2 ページ目のメインメニュー表示

## 2 設定を変更したい項目を選ぶ



選んで  
数字ボタンでも選べます。

## 3 設定する (⇒19 ~ 21 ページ)



選んで  
数字ボタンでも選べます。

## 4 メニューを終了する



設定が反映されます。  
設定変更後、ディスクの頭に戻って再生します。  
(7.Speaker Levelを除く)  
「0: Exit」を選んで終了しない限り、設定内容は反映されませんので、必ず設定終了後は「0: Exit」を選んで終了してください。(7.Speaker Levelを除く)

## 3 設定する

### 1 ~ 4. Speaker Type

各スピーカーの有無・大きさを設定する  
スピーカーシステムに合わせて設定してください。

#### センタースピーカー

<Speaker Type>	
Select	1. Large
Speaker Type	2. Small
	3. None
	4. Return

- 1. Large ; 大型のスピーカー。低音再生が可能なとき。(100 Hz 以下が目安)
- 2. Small ; 小型のスピーカー。低音再生が不可能なとき。
- 3. None ; センタースピーカーを使用しないとき。(初期設定)
- 4. Return ; (メインメニューに戻る)

#### お知らせ

センタースピーカーを設置している場合は、「Large」または「Small」に設定してください。そうしないとセンタースピーカーから音声は出力されません。「None」に設定するとセンターの信号は、フロント(右)(左)に合成して出力されます。

#### フロントスピーカー

<Speaker Type>	
Select	1. Large
Speaker Type	2. Small
	3. Return

- 1. Large ; 大型のスピーカー。低音再生が可能なとき。(100 Hz 以下が目安)(初期設定)
- 2. Small ; 小型のスピーカー。低音再生が不可能なとき。
- 3. Return ; (メインメニューに戻る)

#### サラウンドスピーカー

<Speaker Type>	
Select	1. Large
Speaker Type	2. Small
	3. Return

- 1. Large ; 大型のスピーカー。低音再生が可能なとき。(100 Hz 以下が目安)(初期設定)
- 2. Small ; 小型のスピーカー。低音再生が不可能なとき。
- 3. Return ; (メインメニューに戻る)

#### サブウーファー

<Sub Woofer>	
Select	1. Yes
SubWoofer	2. No
	3. Return

- 1. YES ; サブウーファーを使用するとき。(初期設定)
- 2. NO ; サブウーファーを使用しないとき。
- 3. Return ; (メインメニューに戻る)

# スピーカーの準備

## 3 設定する

### 5 ~ 6. Speaker Delay

各スピーカーの音が聴取位置に届くタイミングを調整する  
聴取位置から各スピーカーの距離の違いが原因で音が不自然に聞こえる場合、センタースピーカーとサブウーファースの出力を、フロントスピーカー出力と同じタイミングで聴こえるように調整してください。

#### センタースピーカー

<Speaker Delay>	
Select	1. 0.0 msec
Speaker Delay	2. 1.3 msec
	3. 2.6 msec
	4. 3.9 msec
	5. 5.3 msec
	6. Return

- 0.0 msec (初期設定)
- 1.3 msec
- 2.6 msec
- 3.9 msec
- 5.3 msec
- Return (メインメニューに戻る)

#### お知らせ

設定した内容は、ドルビーデジタルのソフトを再生したときのみ反映されます。

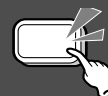
#### サラウンドスピーカー

<Speaker Delay>	
Select	1. 0.0 msec
Speaker Delay	2. 5.3 msec
	3. 10.6 msec
	4. 15.9 msec
	5. Return

- 0.0 msec
- 5.3 msec (初期設定)
- 10.6 msec
- 15.9 msec
- Return (メインメニューに戻る)

#### お知らせ

設定した内容は、ドルビーデジタルのソフトを再生したとき、またはPROLOGIC (☞41 ページ) に設定しているときのみ反映されます。



ボタンを押すことを示しています。

## 3 設定する

### 7. Speaker Level

各スピーカーの出力レベルを調整する  
テスト信号(「ザー」という音)が黄色表示された各スピーカーから出力されます。同じ音量で聴こえるように調整してください。

選んだ(黄色表示)スピーカーからテスト信号が出力され、本機に設定値が表示されます。設定後は、ENTER ボタンを押してメインメニューに戻ります。

初期設定: 0(dB)

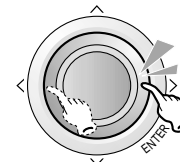
<Speaker Level>	
Select	1. L ch
Speaker	2. C ch
	3. R ch
	4. RS ch
	5. LS ch
	6. SW
	7. Return

- L ch
- C ch
- R ch
- RS ch
- LSch
- SW
- Return (メインメニューに戻る)

#### お知らせ

“ - ” に設定したスピーカーからは、テスト信号が出力されません。(☞45 ページ) テスト信号の音量を上げて調整したあとは、元の最適な音量に戻してください。

出力レベルを調整するには:  
調整範囲  
0 ~ -12(dB)



テスト信号の音量を調整するには:

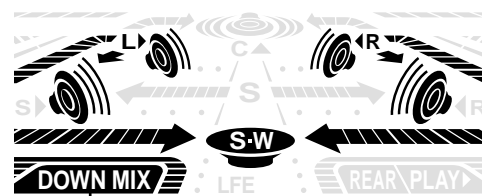


### 8. Down Mix

スピーカー出力を合成する(ダウンミックス)  
ドルビーデジタルのソフト(DD DIGITAL が点灯)のとき、各スピーカーチャンネルの信号を合成して、2ch ステレオで出力できます。

<Down Mix>	
Select	1. ON
Down Mix	2. OFF
	3. Return

- ON ; ダウンミックス(2ch ステレオ再生)。フロントスピーカーのみ接続しているときはこの設定を選びます。センター、リア(右)(左)の信号をフロント(右)(左)に合成して出力します。センタースピーカーから音が出なくなります。
- OFF ; ディスクに記録されている信号フォーマットで出力します。例) 5.1 チャンネルサラウンド再生 (初期設定)
- Return ; (メインメニューに戻る)



ダウンミックス ON のとき点灯  
(プライベートモード時を除く)

#### お知らせ

サラウンドスピーカー、センタースピーカーを接続しているときは「OFF」をおすすめします。プライベートモード中(☞50 ページ)は、スピーカーの設定にかかわらず、ダウンミックス ON で再生されます。

# 共通の操作

操作する前に、車のイグニッションスイッチを「ACC」または「ON」にしてください。



ボタンを押すことを示しています。



一定時間ボタンを押し続けることを示しています。



本体のみで操作することを示しています。

## 警告

運転者は走行中に操作をしない、また画像を注視しない



禁止

走行中の操作や画面の注視は、前方不注意による交通事故の原因になります。安全な場所に停車し、操作してください。

### A 電源を入れる



押す

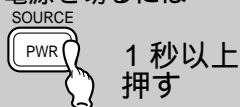
はじめてご使用になるときはラジオを受信し、“Panasonic Presents....”の文字が表示されます。(デモモード)

デモモードを解除するには



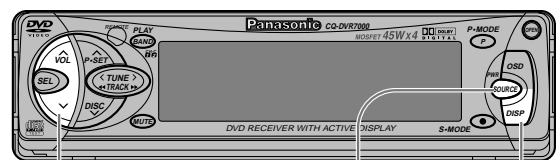
押す

電源を切るには



1秒以上押す

本体で操作するときは



C

A B

DISP

### B 音源(ソース)を選ぶ



押す

- TUNER (ラジオ)
- ↓
- DVD VIDEO (DVDビデオなど) ディスクが挿入されているとき
- ↓
- CHANGER (CD/MDチェンジャー) 別売のCD/MDチェンジャーを接続したとき
- ↓
- AUXILIARY (外部入力)

### C 音量を調整する (調整範囲: 0 ~ 40)



音量が上がる



音量が下がる

お知らせ

ソースを切り替えると、そのソースで記憶されている音量に変わります。(インテリジェントボリューム)

## 時計を調整する (24時間表示)

### 1 2秒以上押す



時計表示部が点滅します。

12:00

### 2 時/分を切り替えて調整する



時間表示が点滅する。

分表示が点滅する。



時/分が進む。

時/分が戻る。

### 3 決定する



押す

10:35

時計が動き始めます。

時計を表示させるには



押す

時計が表示されるまで、何回か押してください。(時計が設定されていないときは“ADJUST”が表示されます。)

# ラジオを聴く

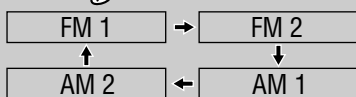
ボタンを押すことを示しています。

一定時間ボタンを押し続けることを示しています。

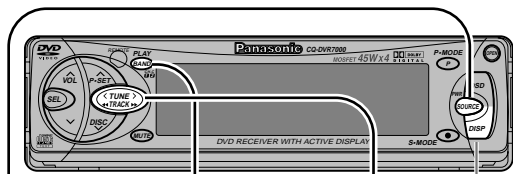
## 1 TUNER を選ぶ



## 2 バンドを選ぶ



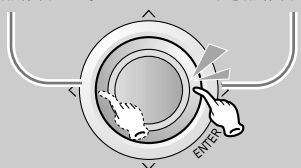
本体で操作するときは



1 2 3 DISP

## 3 放送局を選ぶ

周波数が下がる 周波数が上がる



押すごとに切り替わります。  
順送り  
0.5 秒以上押し続けると探索し始め、ボタンを離れた時点からもっとも近い受信局で止まります。  
シーク

## 表示を切り替える



通常表示

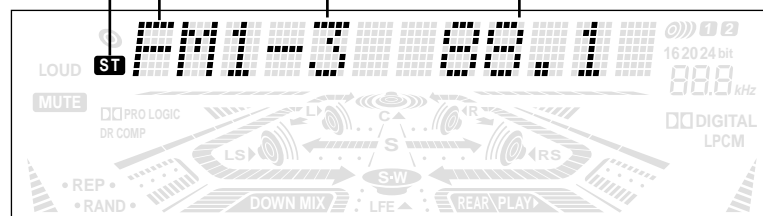
時計表示

消灯

通常表示

FM ステレオ放送を受信したときに点灯

バンド プリセット番号 周波数



## 放送局を記憶させる

FM、AM ともバンドごとに 6 局まで選択できます。(最大 24 局)

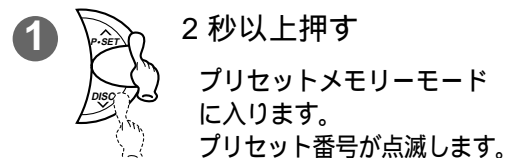
放送局を一局ずつ記憶させる  
(プリセットメモリー)

バンドと放送局を選んでから

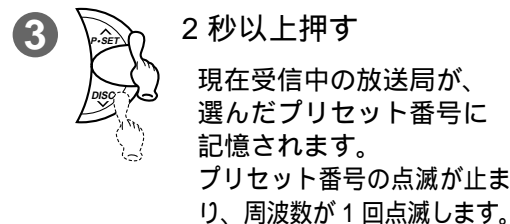


周波数が記憶されると、1 回点滅します。

本体で操作するときは



2 プリセット番号を選ぶ

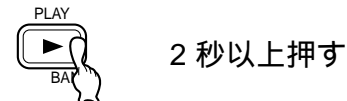


設定の途中で解除するには



放送局を自動で探し、記憶させる  
(オートプリセットメモリー)

バンドを選んでから

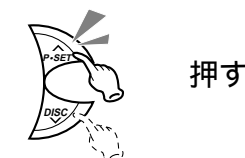


低い周波数から、受信状態のよい順にプリセット番号 1 ~ 6 へ記憶されます。  
記憶が終わるとプリセット番号が点滅し、約 5 秒ずつ徐々に呼び出されます。  
(プリセットスキャン)

プリセットスキャンを止めるには



本体で操作するときは



## 記憶された放送局を呼び出す (プリセット受信)

バンドを選んでから



記憶されている放送局を受信します。

本体で操作するときは



使う

# ディスクを再生する

操作はディスクによって異なります。詳しくは、ディスクの説明書をご参照ください。  
操作の前に、モニターの接続設定（アスペクト比、映像サイズ）を確認してください。（38 ページ）

## ディスクを出し入れする

### 注意

可動部に手・指を入れない  
ディスク挿入口に異物を入れない



禁止

可動部に手・指、挿入口に異物を入ると、けがや故障の原因になります。特に乳幼児にご注意ください。



### 1 パネルを開ける



DISP

### 2 ディスクを入れる

ディスクを入れる前に、すでにディスクが入っていないかを確認してください。ディスクの再生が始まります。

### 3 パネルを閉じる

ディスクを取り出すには



### お知らせ

両面に記録されている DVD の場合は、表裏を確かめてディスクを入れてください。ディスクを出し入れするときはディスクの動作を妨げないでください。DVD ビデオ/ビデオ CD/CD モードのときにディスクを取り出すと、電源が切れます。電源が切れているときにディスクを入れると、電源が入ります。ディスクを入れてから再生するまでに時間がかかることがあります。

## 再生する

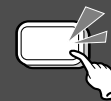
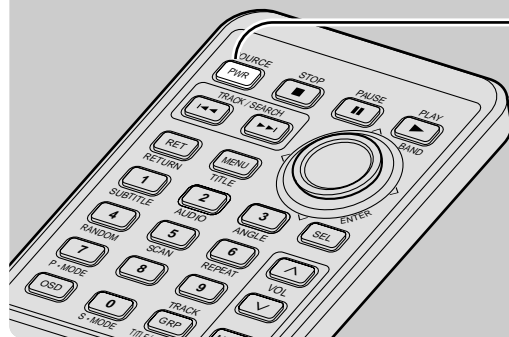
（本体にディスクが入っている状態で、DVD ビデオ/ビデオ CD/CD モード(ディスクモード)以外のソースが選ばれているとき）

DVD ビデオ/ビデオ CD/CD モード(ディスクモード)を選ぶ

SOURCE (例：“DVD-VIDEO”の場合)



再生が始まります。



ボタンを押すことを示しています。



一定時間ボタンを押し続けることを示しています。



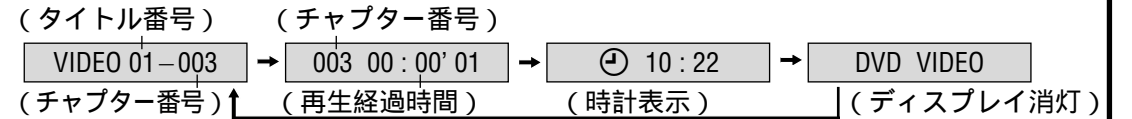
本体のみで操作することを示しています。

## 表示を切り替える

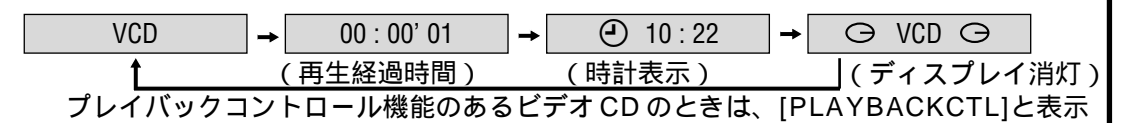
DVD VIDEO VIDEO CD CD



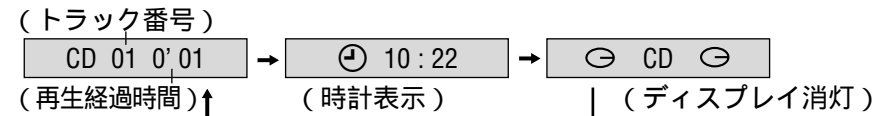
### DVD ビデオのとき



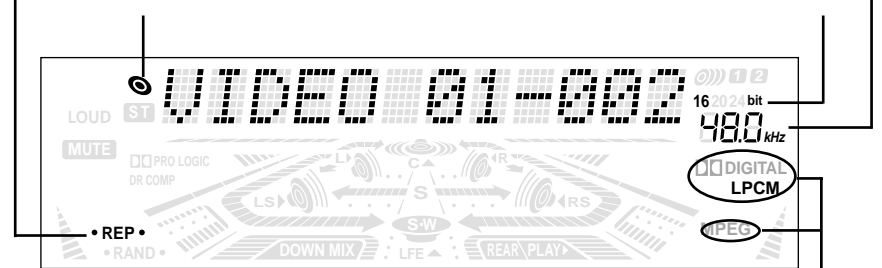
### ビデオ CD のとき



### CD のとき



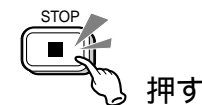
リピート再生中に点灯/点滅 サンプル周波数(66 ページ)  
ディスクが入っているとき点灯 量子化ビット数(66 ページ)



再生中ソフトの録音方式を表示

## 再生を止める

DVD VIDEO VIDEO CD CD



再生が止まります。  
[PLAY▶] を押すと、止めたところから再生が始まります。(続き再生機能)  
(停止中に 2 秒間[STOP■] を押し続けると続き再生機能が解除されます。)

# ディスクを再生する

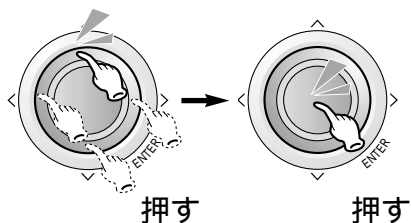


## メニューを選ぶ



DVD ディスクには、それぞれ特有のメニューを持つものがあります。メニューの内容はディスクによって異なりますが、基本的な操作の方法を以下に説明します。

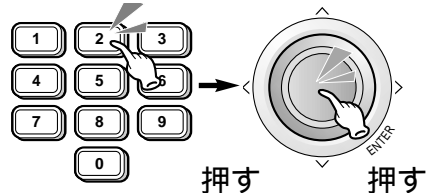
### DVD ビデオのとき



例:

DVD メニュー	
1 ジャズ	4 演歌
2 ポップス	5 ロック
3 クラシック	

### DVD ビデオ/プレイバックコントロール付きビデオ CD のとき



例:

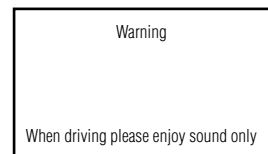
1. 至上の愛
2. インプレッション
3. コートにすみれを

Number:

### お知らせ

ビデオ CD (プレイバックコントロール付き) の再生中に [▶▶] [◀◀] を押すと、メニュー画面に戻ることがあります。操作はディスクによって異なります。詳しくは、ディスクの説明書をご参照ください。

運転中の DVD/ビデオ CD の画面は右図のようなメッセージ (運転中は音声のみお楽しみください) が表示されます。



## 頭出しする



押すごとに、チャプター/トラックが頭出しされます。戻し方向に 1 回押すと、再生中のチャプター/トラックの先頭に戻ります。

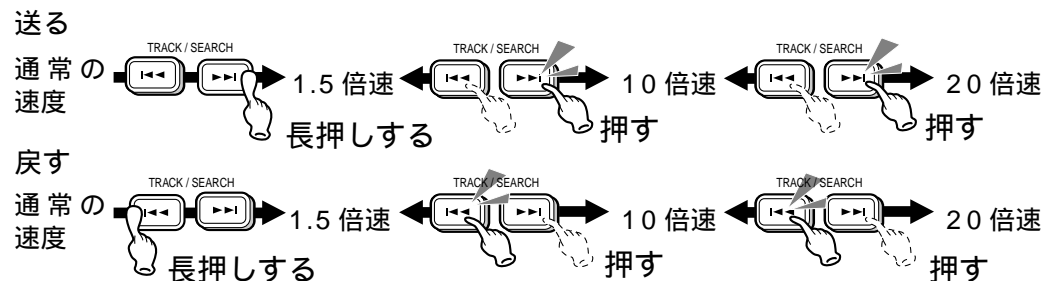
### お知らせ

DVD ビデオの再生中は、タイトルをまたがって、チャプターの頭出しをすることはできません。

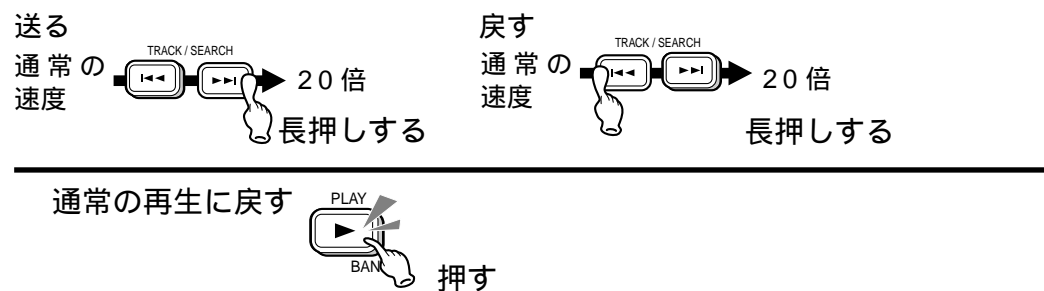
## 早送り/早戻しする



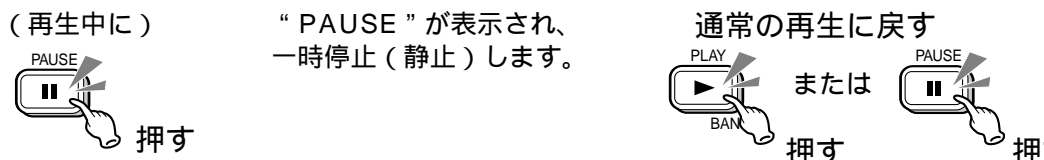
### DVD ビデオ/ビデオ CD のとき



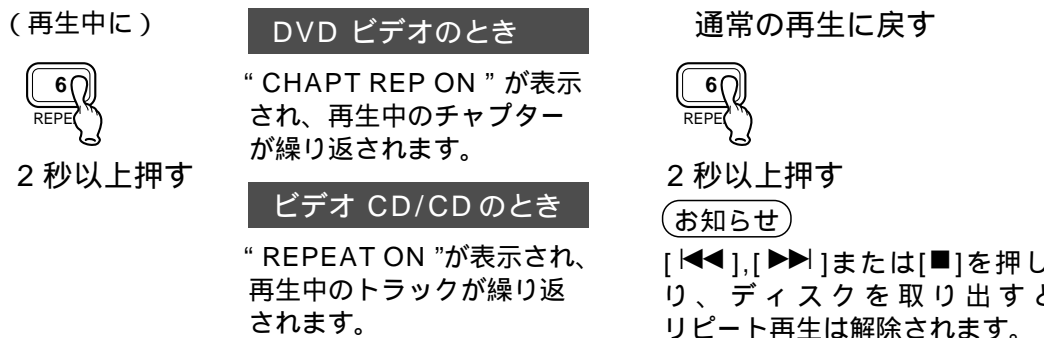
### CD のとき



## 一時停止 (静止) する



## 繰り返し再生する (リピート)



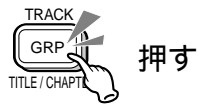
# ディスクを再生する



## 好みのタイトル/チャプター/トラックから再生する (ダイレクト選択)

### 1 入力モードを選ぶ

(再生中に)



DVD VIDEO

(通常モード)

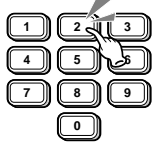
チャプター番号入力モード  
↓  
タイトル番号入力モード

CD

(通常モード)

トラック番号入力モード

### 2 タイトル/チャプター/トラック番号を入力する



番号を再度入力するには



お知らせ

存在しないタイトル/トラック/チャプター番号を選ぶと、無効になり、通常モードに戻ります。  
DVD ビデオのみ停止中でも選べます。

### 3 決定する



再生が始まります。

## スロー再生する

(静止中に)



通常の 1/3 の速度で再生されます。

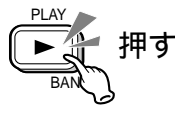
静止する



お知らせ

戻し方向のスロー再生はできません。

通常の再生に戻す



## 一時的に音量を下げる (ミュート/アッテネータ)

音量の下がりかたは、設定 (ミュートまたはアッテネータ) によって異なります。



ミュート/アッテネータが ON のときは、「MUTE」インジケータが点滅し、一部のボタンを除いて操作ができなくなります。

設定がミュートのとき

通常の音量

MUTE OFF

MUTE

音量が 0 (無音) になる。

設定がアッテネータのとき

通常の音量

ATT OFF

ATT

音量が 1/10 になる。

## OSD (オンスクリーンディスプレイ) を表示する

(再生中に)



押すごとに ON ↔ OFF が切り替わります。



### ① 動作状態

現在の動作状態を表示します。

[例: Loading (読み込み中) Play (再生中) Pause (静止中) FF (早送り) など]

### ② タイトル番号 (DVD ビデオのみ)

再生中のタイトルの番号を表示します。

### ③ チャプター番号 (DVD ビデオのみ)

再生中のチャプターの番号を表示します。

トラック番号 (音楽 CD のみ)

再生中のトラックの番号を表示します。

### ④ 再生時間

ディスクの再生を開始してからの、総再生時間を表示します。

CD のときは、再生中のトラックの演奏時間を表示します。

### お知らせ

工場出荷時は、OSD を表示するように設定されています。

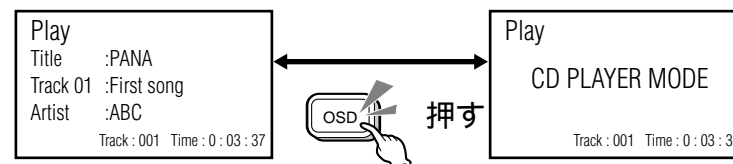
音楽 CD 再生中は、OSD を消すことはできません。

画面に「---」と表示されることがありますが、故障ではありません。

本機に接続しているモニターの設定が「ズーム」になっていると、OSD が正しく表示されない場合があります。そのときは、「ノーマル」、「ジャスト」、「フル」など、他の設定に変えてください。

### 音楽 CD のとき

表示は、CD テキストの有無によって異なります。



CD テキストがない場合は、「NO CD-Text」と表示されます。



# ディスクを再生する



ボタンを押すことを示しています。



一定時間ボタンを押し続けることを示しています。

## 字幕言語を切り替える [SUBTITLE]

DVD VIDEO

複数の字幕言語が記録されているディスクでは、再生中に字幕言語を切り替えられます。

(再生中に)



2 秒以上押す



お知らせ

約 5 秒間何もしないと、通常モードに戻ります。  
字幕言語の数はディスクによって異なります。  
DVD メニュー (⇒ 33 ページ) または初期設定 (⇒ 37 ページ) からでないと、字幕が変更できないことがあります。  
字幕が表示されるまでに、多少時間がかかることがあります。

2 秒以上押すごとに字幕言語が切り替わります。はじめは初期設定で設定されている字幕言語が表示されます。(この言語が記録されていないときは、ディスクで決められた言語が表示されます)

## 音声言語を切り替える [AUDIO]

DVD VIDEO

複数の音声言語が記録されているディスクでは、再生中に音声言語を切り替えられます。

(再生中に)



2 秒以上押す



お知らせ

約 5 秒間何もしないと、通常モードに戻ります。  
音声言語の数はディスクによって異なります。(ひとつしかないものもあります)  
DVD メニュー (⇒ 33 ページ) または初期設定 (⇒ 37 ページ) からでないと、音声を変更できないことがあります。

2 秒以上押すごとに音声言語が切り替わります。

## 音声 (ステレオ/モノラル) を切り替える [AUDIO]

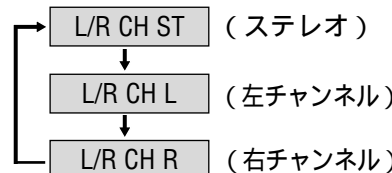
VIDEO CD

ステレオ/モノラルの切り替えができます。

(再生中に)



2 秒以上押す



お知らせ

約 5 秒間何もしないと、通常モードに戻ります。  
「L/R CH L」または「L/R CH R」のときは、左右両方のスピーカーから、選択されたチャンネルの音声が出力されます。

2 秒以上押すごとに切り替わります。

## 角度 (アングル) を切り替える [ANGLE]

DVD VIDEO

複数のアングルが記録されているディスクでは、再生中にアングルを切り替えられます。

(再生中に)



2 秒以上押す



お知らせ

約 5 秒間何もしないと、通常モードに戻ります。

2 秒以上押すごとにアングルが切り替わります。

## DVD メニューを使う [MENU]

DVD VIDEO

ディスク特有のメニュー (DVD メニュー) から、内容、音声、字幕などを選んで再生できます。

1 (再生中に)

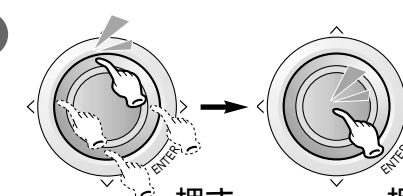


押す

例:

DVD メニュー	
1 ジャズ	4 演歌
2 ポップス	5 ロック
3 クラシック	

2



(項目を選ぶ)

(決定する)

DVD メニューが画面に表示されます。  
(もう一度押すと、DVD メニューを呼び出した場面から再生されます)

お知らせ

DVD メニューの内容や操作は、ディスクによって異なります。  
詳しくは、ディスクの説明書をご参照ください。

## タイトルメニューを使う [MENU]

DVD VIDEO

ディスクに複数のタイトルが記録されているときは、タイトルメニューからお好みのタイトルを選んで再生できます。

1 (再生中に)

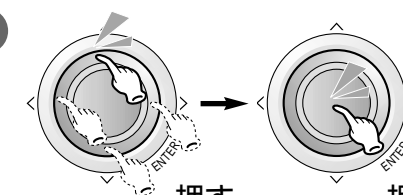


2 秒間押す

例:

タイトルメニュー	
世界編	全国編
地方編	特別編

2



(項目を選ぶ)


(決定する)

タイトルメニューが画面に表示されます。  
(もう一度押すと、タイトルメニューを呼び出した場面から再生されます)

停止中でもメニューを呼び出せます。

# チェンジャーでCD/MDを聴く

別売のCDチェンジャー(CX-DP1205D等)またはMDチェンジャー(CX-MD6D等)を接続してください。

 ボタンを押すことを示しています。  
 一定時間ボタンを押し続けることを示しています。

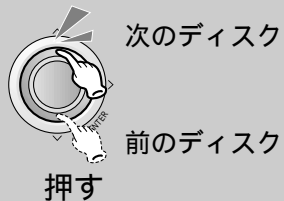
## 1 CHANGERを選ぶ



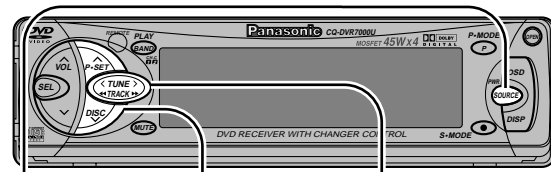
ディスクの再生が始まります。

「NO DISC」が表示されたらチェンジャー(マガジン)にディスクを入れてください。

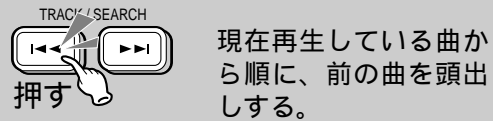
## 2 再生するディスクを選ぶ



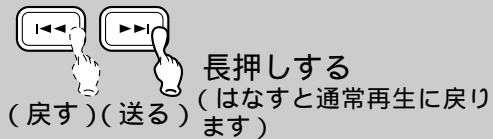
本体で操作するときは



## 3 トラックを選ぶ



早送り/早戻しをするには



### お知らせ

チェンジャーにマガジンを入れると電源が切れているとき電源が入り、CHANGERモードになります。他のモードが選ばれているときCHANGERモードに切り替わります。

## 曲を探す(スキャン)

チェンジャー内のディスクの全曲が、約10秒ずつ次々に再生されます。(トラックスキャン)

チェンジャー内のディスクの1曲目が、約10秒ずつ次々に再生されます。(ディスクスキャン)



再生経過時間の表示が点滅します。一周すると、元の曲の頭から再生します。

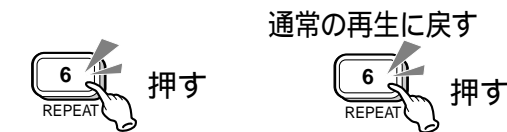


2秒間押す ディスク番号の表示が点滅します。一周すると、元のディスクの頭から再生します。

## 繰り返し聴く(リピート)

現在聴いている曲が、繰り返して再生されます。

現在聴いているディスクが、繰り返して再生されます。(ディスクリピートプレイ)



「REP」が点灯します。

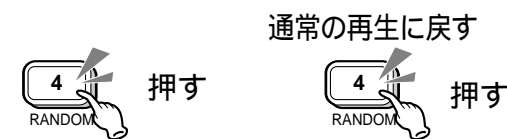


2秒間押す 「REP」が点滅します。

## 順不同で聴く(ランダム)

チェンジャー内のディスクの全曲から、順不同に再生されます。(ランダム)

現在聴いているディスクの曲が、順不同に再生されます。(ディスクランダム)



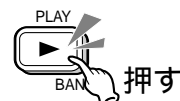
「RAND」が点灯します。



2秒間押す 「RAND」が点滅します。

## 2台のチェンジャーで聴く(ツインチェンジャー)

別売のツインチェンジャーコントロールユニット(CA-LA9D)で接続してください。



選択されているチェンジャー番号が点灯します。

### お願い

ツインチェンジャーコントロールユニットに、チェンジャーを1台しか接続しない場合は、CHANGER1に接続してください。

## 表示を切り替える

- 通常表示
- ↓
- 時計表示
- ↓
- MDディスクタイトル表示
- ↓
- MDトラックタイトル表示
- ↓
- 消灯

DISP 押す

ツインチェンジャーのとき、選択されているチェンジャー番号が点灯

チェンジャーモードになると点滅

ディスク番号 曲番号 再生経過時間

•REP• ランダム再生時に点灯

•RAND• リピート再生時に点灯

# 初期設定を変更する

字幕言語 (Subtitle Language) や音声言語 (Audio Language) 等の初期設定を変更したいときに操作します。



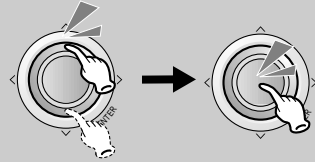
## 1 メニュー画面を選び



初期設定画面 (メインメニュー) が表示されます。

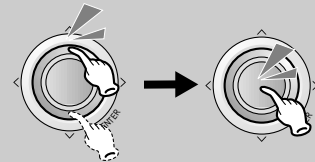
<Main Menu>	
1. Menu Language	: Japanese
2. Subtitle Language	: Japanese
3. Audio Language	: Japanese
4. TV Aspect	: 16:9
5. TV Mode (4:3)	: Pan&Scan
6. On-Screen Messages	: ON
7. Audio Output Level	: 3
8. D. Range Compression	: OFF

## 2 項目を選ぶ



決定  
数字ボタンでも選べます。

## 3 設定する



決定  
数字ボタンでも選べます。

## 4 設定を終了する



設定が反映されます。  
設定変更後、ディスクの頭に戻って再生します。  
「0: Exit」を選んで終了しない限り、設定内容は反映されませんので、必ず設定終了後は「0: Exit」を選んで終了してください。

### お知らせ

ディスク側に優先の言語や設定がある場合は、本機の初期設定が反映されません。

## 3 設定する

### メニュー言語 (1. Menu Language)



- |                          |                          |
|--------------------------|--------------------------|
| 1. Japanese (日本語) (初期設定) | 4. Other (その他) (この頁下段参照) |
| 2. English (英語)          | 5. Return (メインメニューに戻る)   |
| 3. Chinese (中国語)         |                          |

<Menu Language>	
Select Language	1. Japanese
	2. English
	3. Chinese
	4. Other
	5. Return

### 字幕言語 (2. Subtitle Language)



- |                          |                          |
|--------------------------|--------------------------|
| 1. Japanese (日本語) (初期設定) | 4. Other (その他) (この頁下段参照) |
| 2. English (英語)          | 5. Disp Off (字幕なし)       |
| 3. Chinese (中国語)         | 6. Return (メインメニューに戻る)   |

<Subtitle Language>	
Select Language	1. Japanese
	2. English
	3. Chinese
	4. Other
	5. Disp Off
	6. Return

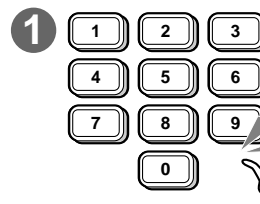
### 音声言語 (3. Audio Language)



- |                          |                          |
|--------------------------|--------------------------|
| 1. Japanese (日本語) (初期設定) | 4. Other (その他) (この頁下段参照) |
| 2. English (英語)          | 5. Return (メインメニューに戻る)   |
| 3. Chinese (中国語)         |                          |

<Audio Language>	
Select Language	1. Japanese
	2. English
	3. Chinese
	4. Other
	5. Return

### メニュー・音声・字幕言語の設定で「Other」を選んだ場合



番号を入力し直すには



(決定する)  
設定が終了し、メインメニューに戻ります。

4桁の言語番号を入力します。(67ページ)

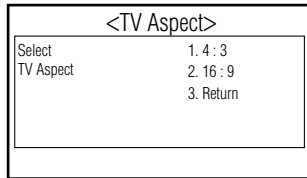
# 初期設定を変更する

## 3 設定する

### アスペクト比の設定 (4. TV Aspect)



- 4:3  
従来サイズ (4:3) のモニターを接続したとき。
- 16:9  
ワイドサイズのモニターを接続したとき。  
ワイド版の映像は、フル画面で再生できます。  
(初期設定)
- Return  
(メインメニューに戻る)

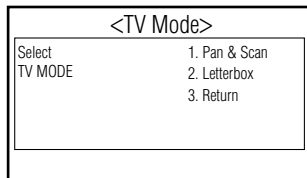


### 映像サイズの設定 (5. TV Mode)



従来サイズのモニター (4:3) で、ワイド版の映像を再生するときの映像サイズを設定します。

- Pan & Scan  
パン＆スキャン式 (左右の切れた画面) で再生します。  
(初期設定)
- Letterbox  
レターボックス式 (左右に黒い帯のある画面) で再生します。
- Return  
(メインメニューに戻る)



#### お知らせ

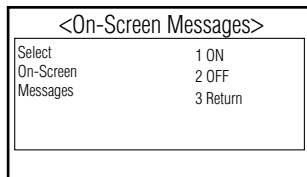
パン＆スキャンまたはレターボックス指定があるソフトに対しては、設定した内容が無効になります。

### オンスクリーンメッセージ設定 (6. On-Screen Messages)



OSD が OFF に設定されているとき、画面上に現在の動作状態 (オンスクリーンメッセージ) を約 5 秒間表示するかしないかを選びます。

- ON :  
オンスクリーンメッセージを表示します。(初期設定)
- OFF :  
オンスクリーンメッセージを表示しません。
- Return :  
(メインメニューに戻る)



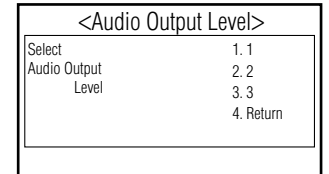
## 3 設定する

### 音声出力レベル設定 (7. Audio Output Level)



プライベートモード中 (50 ページ) REAR AUDIO OUT 端子から出力される音声レベルを調整します。

- 1 最小レベル
- 2 中レベル
- 3 最大レベル (初期設定)
- Return (メインメニューに戻る)



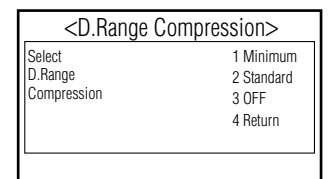
#### お知らせ

通常は「3」(初期設定) を選び、接続しているディスプレイユニットで音量調整することをおすすめします。

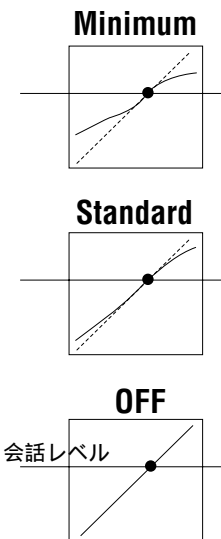
### 小音量で聴きやすい音にする (8. D. Range Compression)



ノイズに埋もれてしまわない最小音と音割れしない最大音との音量差を圧縮する機能です。音場の広がり感を維持したままピークレベルを抑えることができるので、音量を抑えたいときにご使用ください。  
(ドルビーデジタルソフト再生のみ有効です)



- Minimum  
最も圧縮した、一般のテレビ放送などに近いモード。  
「DR COMP」が点灯します。
- Standard  
ソフトの制作者が小音量での視聴用として推奨するモード。  
「DR COMP」が点灯します。
- OFF  
圧縮しない、映画館そのままのモード。(初期設定)
- Return  
(メインメニューに戻る)



#### お知らせ

小さな音 (映画のセリフなど) が聞き取りにくいときは、「Minimum」に設定すると、聞き取りやすくなります。

# サウンドモードを選んで聴く



ボタンを押すことを示しています。



一定時間ボタンを押し続けることを示しています。

## 1 サウンドモードを選ぶ

### 1 設定モードを切り替える

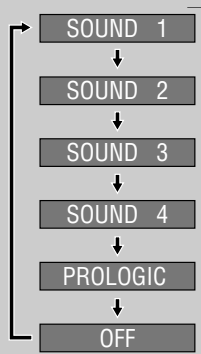


2 秒間押す

### 2 項目を選ぶ



押す

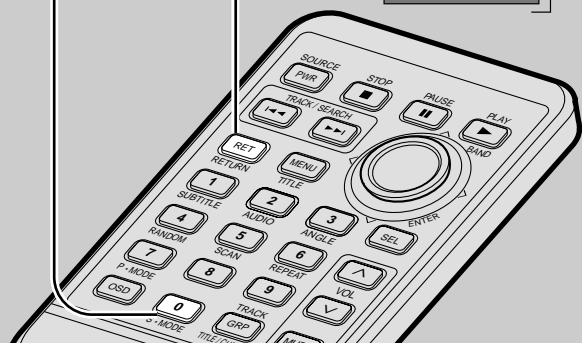


(← 次ページ)

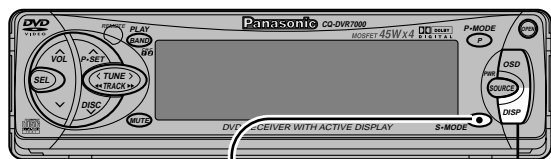
#### お知らせ

設定変更後、[RET]または本体の[DISP]を押すと設定が完了し、通常モードに戻ります。約 10 秒間何も操作しないと設定が完了し、通常モードに戻ります。マルチチャンネル (5.1ch) ソース再生中やプライベートモード中は、設定は反映されません。各音源(ソース)ごとに設定することができます。

RET(RETURN)



本体で操作するときは



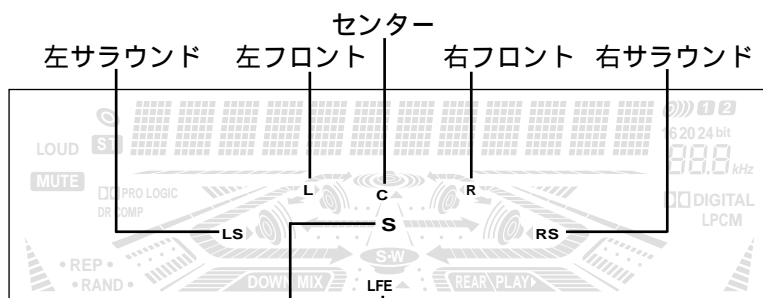
1 S-MODE

押す

DISP

## 信号フォーマット表示

各スピーカーチャンネルに入ってくる、デジタル信号に応じて点灯します。(表示される信号フォーマットは、ソフトによって異なります)



「PROLOGIC」のとき、モノラルサラウンド サブウーファー専用の信号があるとき点灯  
サウンド成分出力のとき点灯

## 1 サウンドモードを選ぶ

### SOUND 1-4

音場効果を加えた音で聴く  
DVD、ビデオ CD、CD、チューナー (ラジオ)、チェンジャーまたは AUX の 2 チャンネル音声を、以下のような音場効果を加えた音声で聴くことができます。

- SOUND 1 SOUND 1: ボーカル成分を強く反響させた音場
- SOUND 2 SOUND 2: ボーカル成分を弱く反響させた音場
- SOUND 3 SOUND 3: ボーカル成分をフロントスピーカーに集め、反響音を加えた音場
- SOUND 4 SOUND 4: ボーカル成分をフロントスピーカーに集めた音場
- PROLOGIC
- OFF

#### お知らせ

センタースピーカーの設定を「Large」または「Small」にしている場合はセンタースピーカーから音声が出力されます。SOUND3、SOUND4 はモノラルまたはモノラルに近い音源に使用すると、リアスピーカーからの出力が小さくなります。SOUND1 ~ 4 はラジオのセリフのみ (ニュース等) の音源に使用しますと、十分な効果が得られません。

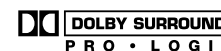
### PROLOGIC

サラウンドサウンドで聴く  
DVD、ビデオ CD、CD、チューナー (ラジオ)、チェンジャーまたは AUX の 2 チャンネル音声を、センタースピーカーを使用したサラウンドで聴くことができます。

- SOUND 1
- SOUND 2
- SOUND 3
- SOUND 4
- PROLOGIC
- OFF

#### サラウンド再生

「 PRO LOGIC」が点灯します。サラウンドで出力されます。ドルビーサラウンドロゴ (右) の無いディスクでは、十分なサラウンド効果が得られません。



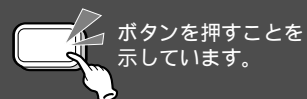
2 チャンネルステレオ再生  
センタースピーカーからは出力されません。



#### お知らせ

センタースピーカーの設定を「NONE」にしている場合はセンタースピーカーから音声が出力されません。

# 音質(サウンド)を設定する

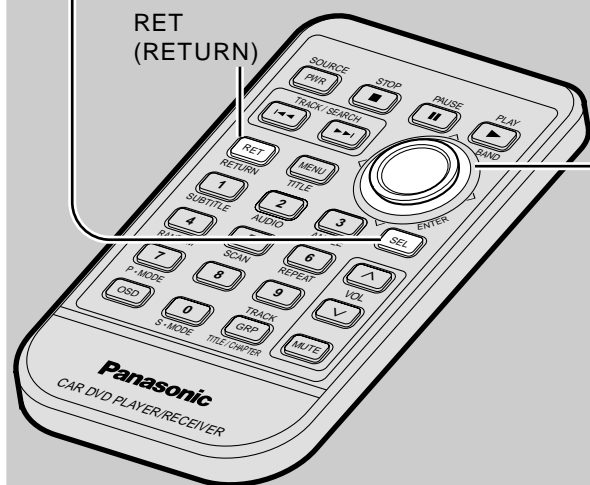


## 1 項目を選び

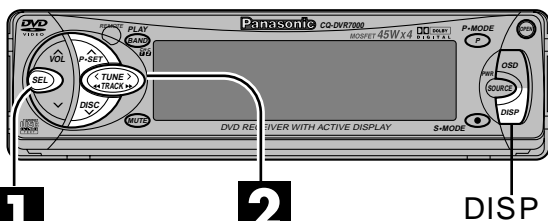


- VIDEO 01-02 (通常モード)
- ↓
- LOUD SEL
- ↓
- BASS SEL (← 次ページ)
- ↓
- TREBLE SEL
- ↓
- BAL // FAD
- ↓
- CENTER VOL (← 45ページ)
- ↓
- SUB-WFR VOL

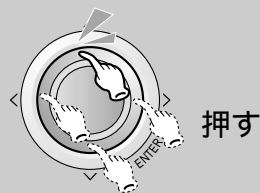
RET  
(RETURN)



本体で操作するときは



## 2 設定する (← 次ページ)



### お知らせ

設定変更後、[RET]または本体の[DISP]を押すと設定が完了し、通常モードに戻ります。約10秒間何も操作しないと設定が完了し、通常モードに戻ります。  
LOUD SEL、BASS SEL、TREBLE SELは各音源(ソース)ごとに設定することができます。

## 2 設定する

### LOUD SEL

ラウドネスを設定する  
小音量のとき、低音、高音部の不足感を補正します。

[<]または[>]    LOUD OFF    通常の音声 (初期設定)

[<]または[>]    LOUD ON    低音、高音部が強調されます。  
「LOUD」が点灯します。

### BASS SEL

低音域を調整する (バス)  
[調整範囲: -12 ~ +12 dB (2dBごと)]

[^]: 低音域を強調する。    BASS 0 dB (初期設定)  
[v]: 低音域を低減する。

### TREBLE SEL

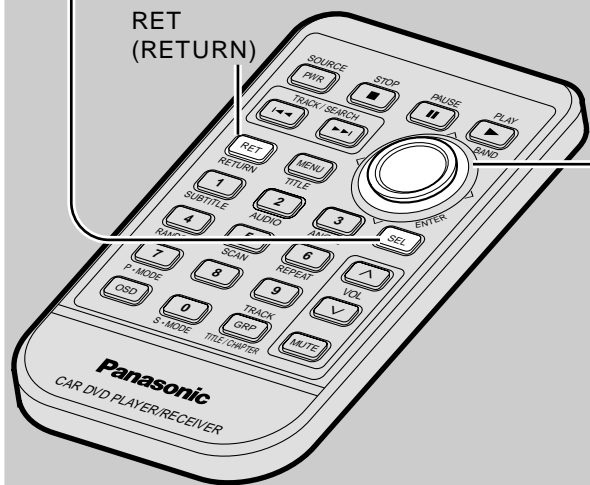
高音域を調整する (トレブル)  
[調整範囲: -12 ~ +12 dB (2dBごと)]

[^]: 高音域を強調する。    TREBLE 0 dB (初期設定)  
[v]: 高音域を低減する。

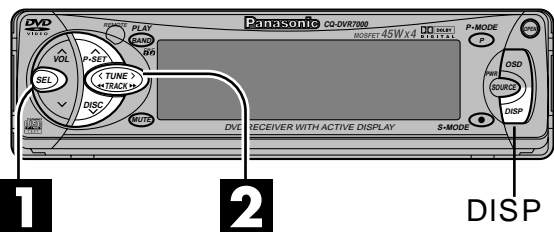
# 音質(サウンド)を設定する



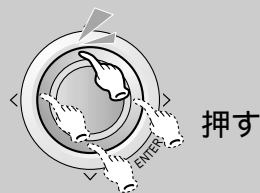
## 1 項目を選び



本体で操作するときは



## 2 設定する



### お知らせ

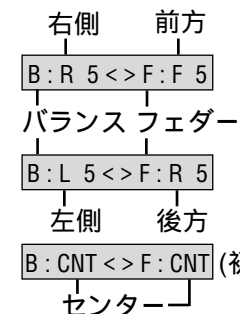
設定変更後、[RET]または本体の[DISP]を押すと設定が完了し、通常モードに戻ります。約10秒間何も操作しないと設定が完了し、通常モードに戻ります。

## 2 設定する

### BAL // FAD

前後左右の音量バランスを調整する(バランス/フェダー)  
(調整範囲:各15)

- [>]: 右側を強調する。
- [<]: 左側を強調する。
- [^]: 前方を強調する。
- [v]: 後方を強調する。



### お知らせ

プライベートモード(50ページ)  
動作中は、バランス/フェダーの設定はできません。

### CENTER VOL

センタースピーカーの音量を調整する  
[調整範囲: -、-10 ~ +10 dB (2dBごと)]  
別売のセンタースピーカーを接続してください。

- [^]: レベルが上がる。
- [v]: レベルが下がる。

CENTER 0 dB (初期設定)

### お知らせ

「-」に設定すると、センタースピーカーから音が出なくなります。

### SUB•WFR VOL

サブウーファーの音量を調整する  
[調整範囲: -、-10 ~ +10 dB (2dBごと)]  
別売のサブウーファーを接続してください。

- [^]: レベルが上がる。
- [v]: レベルが下がる。

SUB•W 0 dB (初期設定)

### お知らせ

「-」に設定すると、サブウーファーから音が出なくなります。

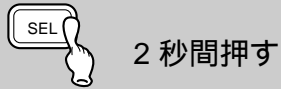
使いこなす

# その他の機能を設定する

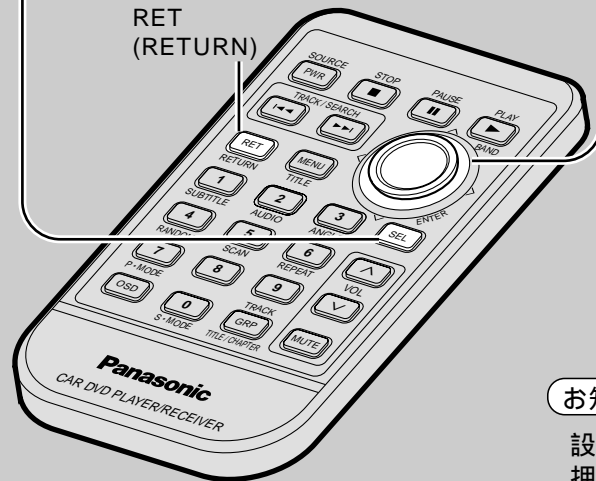
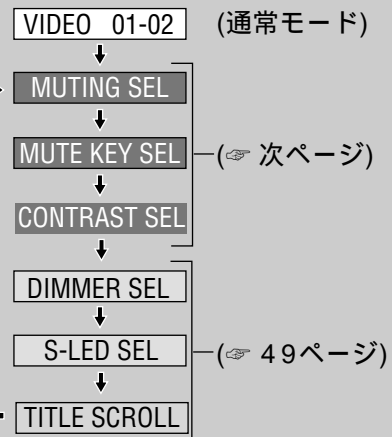


## 1 項目を選び

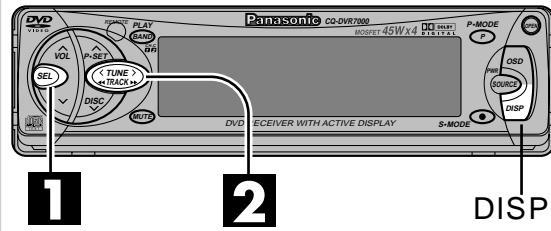
### 1 設定モードを切り替える



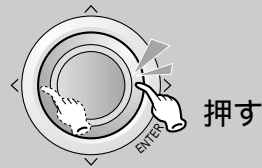
### 2 項目を選ぶ



本体で操作するときは



## 2 設定する



### お知らせ

設定変更後、[RET]または本体の[DISP]を押すと設定が完了し、通常モードに戻ります。約10秒間何も操作しないと設定が完了し、通常モードに戻ります。

## 2 設定する

### MUTING SEL

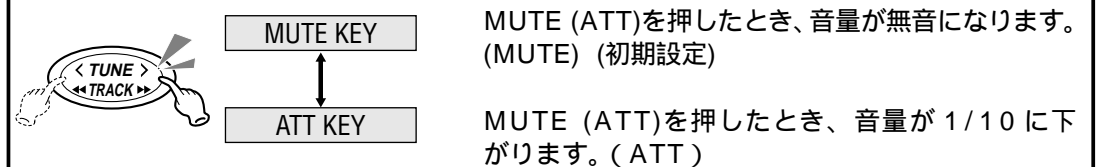
ナビゲーションの音を聴きやすくする(ナビミュート切り替え)  
ナビゲーションの音声案内中の本機の音量を、設定します。



ナビゲーションが音声案内しているときは、ナビミュートの設定状態「MUTING \* \* \*」の文字が表示されます。(MUTING OFF 設定の場合を除く)

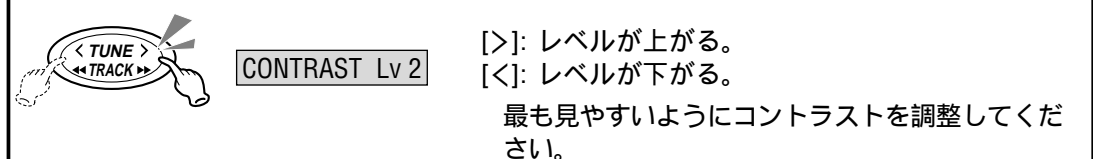
### MUTE KEY SEL

ミュート(ATT)ボタンの機能を選ぶ(MUTEボタン設定)  
MUTE(ATT)ボタンを押したときの音量の上がりかたを設定します。



### CONTRAST SEL

本機のディスプレイの表示を調整する(コントラスト)  
本機のFLディスプレイのコントラスト(明暗の差)を設定し、表示を見やすくします。(調整範囲: 1~5) (初期設定: Lv2)



使いこなす



# その他の機能を設定する

ボタンを押すことを示しています。 一定時間ボタンを押し続けることを示しています。

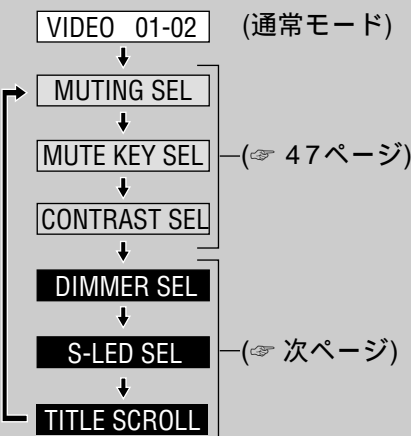
## 1 項目を選び

### 1 設定モードを切り替える

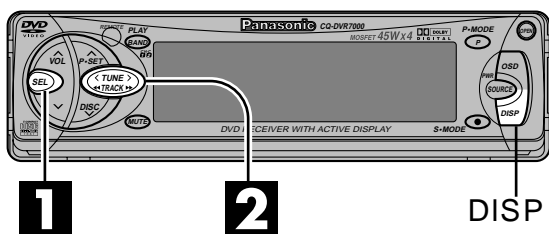
SEL 2 秒間押す

### 2 項目を選ぶ

SEL 押す



本体で操作するときは

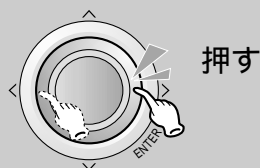


1

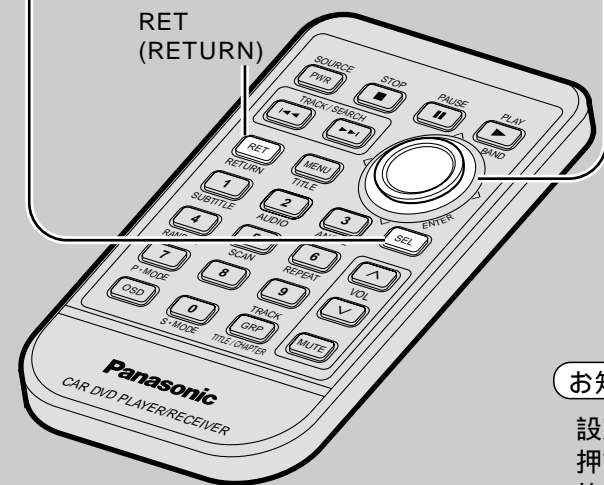
2

DISP

## 2 設定する



押す



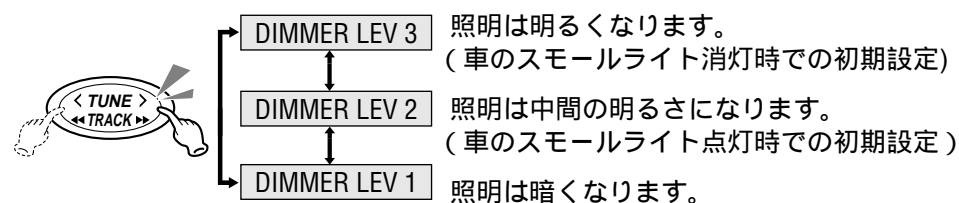
### お知らせ

設定変更後、[RET]または本体の[DISP]を押すと設定が完了し、通常モードに戻ります。約10秒間何も操作しないと、通常モードに戻ります。(設定が完了します。)

## 2 設定する

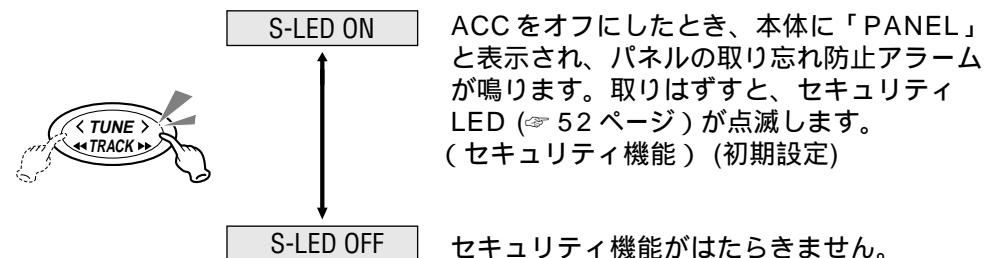
### DIMMER SEL

本機のディスプレイの明るさを調整する(ディマー)



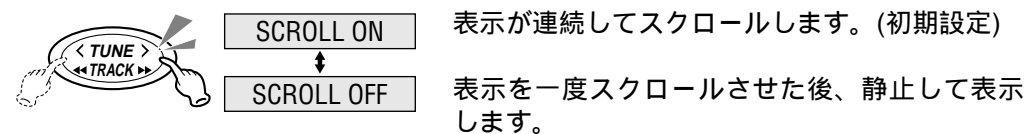
### S-LED SEL

セキュリティ機能を使用する  
パネルを本体から取りはずすとき、セキュリティ機能を使用する/しないを設定します。(52ページ)



### TITLE SCROLL

タイトルを流して表示させる(タイトルスクロール)  
MDチェンジャーのタイトルを、連続してスクロールさせたり、静止させて表示できます。



### お知らせ

MDチェンジャーモードの時以外は、タイトルスクロールしません。  
SCROLL OFF設定の場合、タイトル静止中に[DISP]を2秒以上押すと、タイトルが1周のみ再スクロールします。

使いこなす

# 前と後で別々のソースを楽しむ

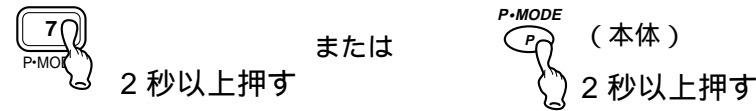


## プライベートモードを設定する



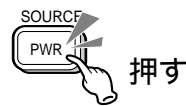
この機能を使うと、後席でDVD、ビデオCD、CDの音声や映像を楽しみながら、前席で別のソース（ラジオ、AUX、CD/MDチェンジャーなど）を楽しむことができます。  
後席の人がDVDを見ながら、前席の人がラジオを聞くときなどに、この機能をお使いください。（通常はOFFにしてください）

### 1 プライベートモードをONにする

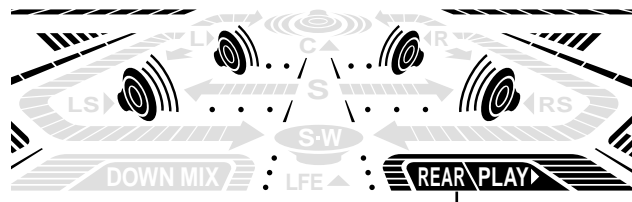


**P-MODE ON** 左のように本機に表示され、5秒間点滅します。

### 2 フロントチャンネルのソースを切り替える

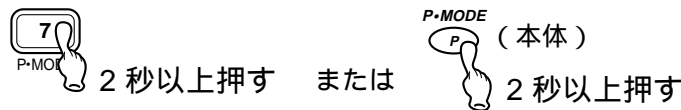


ボタンを押すたびに、フロントチャンネルのみ、(本機のディスプレイに表示されている)ソースが切り替わります。  
プライベートモードがONの間は、リアスピーカー、センタースピーカーおよびサブウーファーからは音が出ません。  
SOURCEボタンを押しても、モニターから出力されるソースは切り替わりません。



プライベートモードONのとき点滅  
(停止中は「PLAY▶」表示のみ消灯)

プライベートモードをOFFにするには

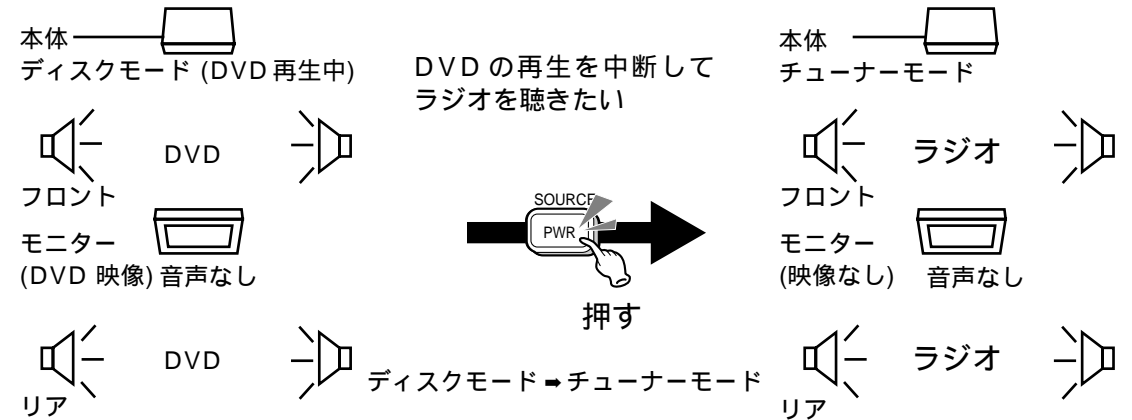


**P-MODE OFF** 左のように本機に表示されます。

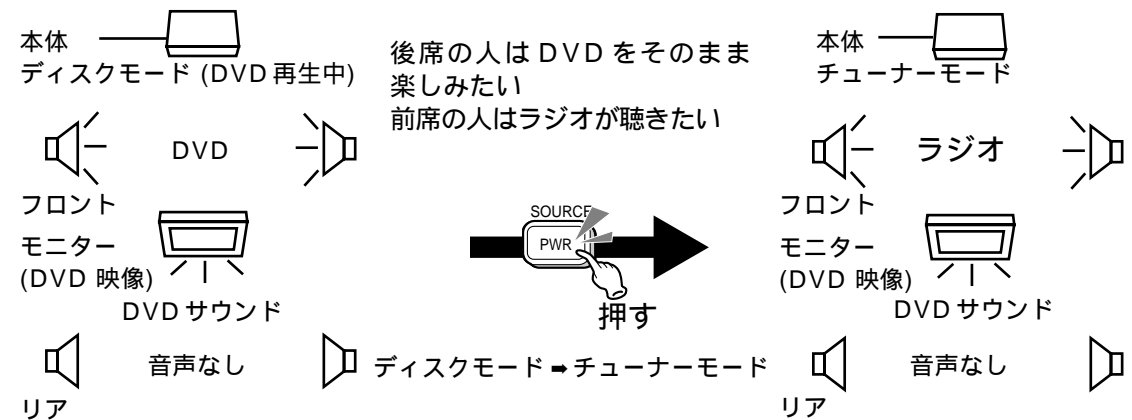
ディスクを本機から取り出してもプライベートモードはOFFとなります。

## 62～63ページの接続（モニターを後席に配置した場合）の実例

### プライベートモードがOFFのとき



### プライベートモードがONのとき



### お知らせ

プライベートモード中に、ディスクモードの操作をしたり、音量などを変更するときは、フロントのソースをディスクモードにしてから操作してください。  
プライベートモード中は設定にかかわらず、ダウンミックスON(21ページ)の状態ではディスク再生されます。  
プライベートモードON/OFFを切り替えるたびにディスクは最初に戻って再生されます。  
以下のような操作をすると「CAN'T SELECT」(無効)と本体に表示されます。  
ディスクが入っていないときにプライベートモードをONにしようとしたとき  
プライベートモードをONにしたあと、最初の5秒間にOFFに切り替えようとしたとき  
バランス/フェーダーの操作(45ページ)をしようとしたとき

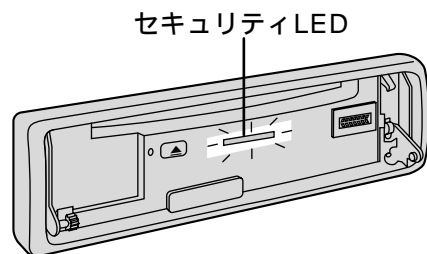
# パネルの脱着のしかた

車から離れるときにパネルを取りはずすと、ユニットの盗難を防ぐことができます。

パネルを取りはずしたままでは電源が入らず、操作できません。

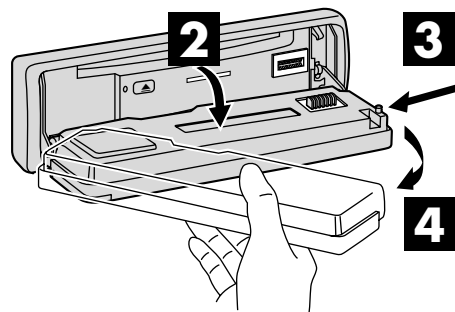
セキュリティ機能をONにしておく(☞49ページ)ACC(アクセサリ電源)をOFFにしたときにセキュリティメッセージが表示され、パネル取り忘れ防止アラーム音が鳴る

パネルを取りはずしたときに盗難防止用のセキュリティLEDが点滅する



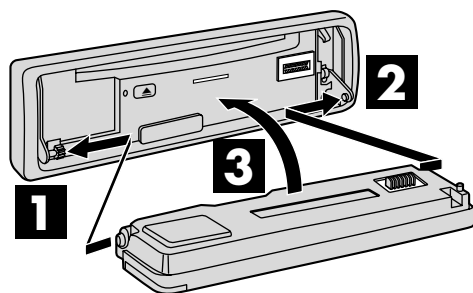
## 取りはずしかた

- 1 電源を切る
- 2 パネルを開く(本体のOPENを押す)
- 3 左に押しながら、
- 4 手前に引く



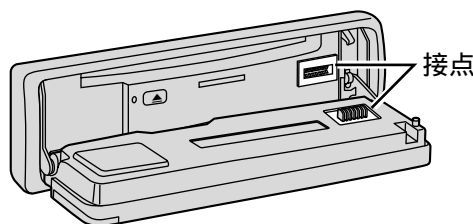
## 取り付けかた

- 1 パネルの左端を本体に差し込む
- 2 左に押しながら、パネルの右端を本体に差し込む
- 3 パネルを閉める



### お願い

パネルは防水されていません。故障の原因になりますので、水をかけたり、湿気の多いところに置かないでください。気温が上がるダッシュボードやその周辺に、パネルを置かないでください。本体とパネルの接点には触らないでください。電氣的な接触不良を起こす原因になります。汚れやゴミなどがついたときは、清潔な乾いた布で拭いてください。



# お手入れ/ディスクの取り扱い

## お手入れ

本機が汚れたら

乾いた柔らかい布で拭いてください。化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書に従ってください。

お手入れのお願い

ベンジン、シンナー類を使わないでください。ケースや塗装が変質します。

## ディスクの取り扱い

持ちかた

ディスクのセンターホールと外周部分を持ちます。



長時間使用しないときは

必ず、本機から取り出してください。ゴミ・ほこりなどの汚れやキズ・そりなどを避けるため、必ずケースに入れて保管してください。

ディスクが汚れたら

水を含ませた柔らかい布で拭いたあと、乾いた布で拭きます。



取り扱いのお願い

ディスクそのものの破損、および機器の故障の原因になることがありますので、次のことをお守りください。

記録面に手を触れない。  
ディスクが回転する方向に拭かない。  
ベンジン、シンナー、レコードクリーナー、静電防止剤で拭かない。  
ディスクを曲げない、キズを付けない。  
鉛筆やボールペンなどで字を書かない。  
紙やシールを貼らない。本機の中で引っかかり、故障の原因になります。  
長時間直射日光の当たるところに置かない。(車のシート、ダッシュボードの上など)  
湿気やゴミ・ほこりの多いところに置かない。  
暖房器具の熱が直接当たるところに置かない。

## ⚠ 注意

特殊形状のディスクやディスクアクセサリは使用しない



禁止

ハート型や八角形など特殊形状のディスクや、プロテクトフィルムやスタビライザーなどのディスクアクセサリを使用すると、故障の原因になります。

## 著作権について

ディスクを無断で複製、放送、公開演奏、レンタルすることは法律により禁じられています。本機は著作権保護技術を採用しており、マクロビジョン社およびその他の著作権者が保有する米国特許およびその他の知的財産権によって保護されています。

この著作権保護技術の使用はマクロビジョン社の許可が必要で、また、マクロビジョン社の特別な許可がない限り家庭用およびその他の一部の鑑賞用の使用に制限されています。分解したり、改造することも禁じられています。

# 故障かな!?

症状	チェック項目・処置	ページ
<b>電源・共通</b>		
電源が入らない。	車のエンジンをかけてください。(「ACC」の位置でも可) 各コードの接続をお確かめください。 ヒューズが切れている。 ▶お買い上げの販売店、またはお近くの「ご相談窓口」(別紙)にヒューズの交換をご依頼ください。	— 62 ~ 65 —
音が出ない。	ミュートがONになっている。 ▶OFFにしてください。 各コードが正しく接続されていない。 ▶各コードの接続を確認してください。 ナビミュートコードが正しく接続されていない。 (MUTINGの文字が表示されている) ▶ナビミュートコードを正しく接続してください。 結露している。 ▶しばらく放置してからご使用ください。	30 62 ~ 65 63 —
	ディスプレイ表示がデモモードになっている。 ▶デモモード以外の表示に切り替えてください。 ミュートがONになっている。 ▶OFFにしてください。	22 30
	外部アンプ使用時に音質が悪い。雑音がでる。	外部アンプのゲインを中間レベル以下に設定してご使用ください。
<b>リモコン</b>		
ボタンを押しても動作しない。	電池の極性(⊕⊖)を確認してください。 電池が消耗している。 ▶交換してください。 リモコン受光部に向けて操作してください。 無効操作である。	9 9 — —
<b>ラジオ</b>		
FMステレオ放送、モノラル放送とも、ノイズが多い。	放送局の電波が弱い。 ▶放送局を切り替えてください。	24 ~ 25
プリセットしたはずの放送局が解除されている。	バッテリー電源コードを常時通電している端子に接続してください。	63

症状	チェック項目・処置	ページ
<b>DVDビデオ、ビデオCD、音楽CD</b>		
ディスクを入れても音が出ない。	ディスクを正しい面と向きで入れ直してください。 ディスクの汚れをクリーニングしてください。 本機で再生可能なディスクか確認してください。 センタースピーカー部分にのみ音声記録されているディスクで、SOUNDまたはPROLOGICが設定されている ▶サウンドモードの設定を「OFF」にしてください。	26 53 3 41
ディスクが出てこない。	ディスクの不良、またはメカの不良。 ▶パネルを開けて、[▲]を押してください。動作しないときは、リセットスイッチを押してください。 ▶それでも正常に戻らないときは、お買い上げの販売店、またはお近くの「ご相談窓口」(別紙)に修理をご依頼ください。	26、57
音質が悪い、または音がとぶ。	ディスクの汚れをクリーニングしてください。 取り付け角度が30°を超えている。 ▶取り付け角度を30°以内にしてください。 取り付けが不安定。 ▶取り付け金具などでしっかりと固定してください。	53 60 60 ~ 61
再生しない、または再生してもすぐに中断する。	結露している。 ▶しばらく放置してからご使用ください。 本機で再生可能なディスクか確認してください。 ディスクを正しい面と向きで入れ直してください。 ディスクの汚れをクリーニングしてください。	— 3 26 53
モニターに画像が映らない。	接続を確認してください。 接続しているテレビ側の設定を確認してください。 走行中は画像は映りません。	62 ~ 65 — 28
DVD再生中、小さい音が聴き取りにくい。	ダイナミックレンジコンプレッションを「Minimum」に設定してください。	39
ボタン操作ができない。	ディスクによっては、その操作を禁止している場合があります。	—
ビデオCDのメニュー再生ができない。	プレイバックコントロール付きビデオCD以外は、メニュー再生ができません。	28

# 故障かな!?

症状	チェック項目・処置	ページ
DVD ビデオ、ビデオ CD、音楽 CD (つづき)		
早送り / 早戻し中に画像が乱れる	多少乱れることがありますが故障ではありません。	-
音声言語 / 字幕言語 / アングルが切り替わらない。	複数の音声 / 字幕 / アングルが記録されていないディスクでは切り替えられません。 ▶メニュー画面などで切り替えられるディスクもあります。または、特定の場面のみアングルなどが切り替えられる場合もあります。 詳しくは、ディスクの説明書をご確認ください。	32 ~ 33
初期設定で選んだ音声 / 字幕言語に切り替わらない。	ディスクに設定した言語の音声や字幕が記録されていないときは切り替わりません。 ▶メニュー画面などで切り替えられるディスクもあります。 詳しくは、ディスクの説明書をご確認ください。	36
接続したモニターのサイズが 4 : 3 (16 : 9) にならない。	ご使用のモニターに合わせて、アスペクト比を正しく設定してください。	38
メニュー画面のメッセージが希望の言語にならない。	初期設定のメニュー言語の設定を確認してください。	37
モニター画面に「⊗」が表示されて操作できない。	本機またはディスクが禁止している操作をしたためです。	-

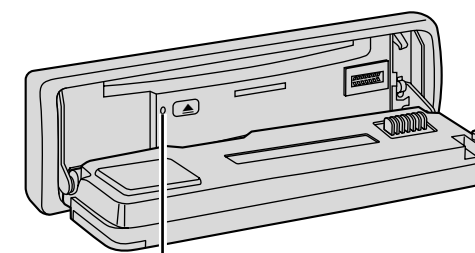
## 万一、異常 (ヒューズの溶断など) が起こったら

すぐに電源を切ってください。  
煙が出ていないこと、熱くないことを確認してから電源の接続をはずし、お買い上げの販売店、またはお近くの「ご相談窓口」(別紙)に修理をご依頼ください。  
お客様による修理やヒューズの交換は、危険ですから絶対におやめください。

症状	チェック項目・処置	ページ
サウンド設定		
スピーカーから音が出ない。	左右前後のバランス調整が片寄っている。 ▶BAL//FAD を適切に調整してください。 スピーカー設定が NO や NONE になっている。 ▶スピーカー設定を確認してください。 各コードの接続を確認してください。	45 19 62 ~ 65
センタースピーカーから音が出ない。	出力レベル / 音量が下がっている。- になっている。 ▶出力レベル / 音量を調整してください。 2チャンネルの音源を再生している。 ▶サウンドモードの設定を「OFF」以外に設定してください。 ダウンミックスが ON になっている。 ▶スピーカーの出力設定を「OFF」に設定してください。 プライベートモードが ON になっている。 ▶プライベートモードを解除してください。	21 41 21 50
ステレオのとき、左右の音が逆になる。	スピーカーコードの接続が逆になっている。 ▶接続を確認してください。	62 ~ 65
DR COMP がはたらかない。 (DR COMP が点灯しない)	再生ソースがドルビーデジタルではない。 ▶ドルビーデジタル方式のソフトだけに有効な機能です。	39

## どのボタンを押しても動作しない場合には

折れにくい棒状のもので、リセットスイッチを垂直に、軽く押してください。  
(強く押しますと、故障の原因になります)  
異常回復後、電源が切れ、初期の状態に戻ります。  
記憶した内容や設定が解除されますので、もう一度、設定・調整し直してください。



リセットスイッチ

リセットしても正常に戻らない場合はお買い上げの販売店、またはお近くの「ご相談窓口」(別紙)に修理をご依頼ください。

必要なときに

# 故障かな!?

こんな表示が出たら

本体表示	モニター表示	チェック項目・処置	ページ
E1 PLS EJECT	Playback Error Please eject	ディスクが汚れている、または裏返しになっている。 ディスクにキズが付いている、または不正な箇所がある。 再生できるディスクではない。 ⇒イジェクトして、ディスクを確認してください。	26
E2 PLS EJECT	This type of disc cannot be played. Please eject.		
E3 PLS EJECT	Mechanical Error Please eject	何らかの原因で動作しない。 ⇒イジェクトして、ディスクを確認してください。 ⇒イジェクトできないときは、リセットスイッチを押してください。それでも動作しないときは、お買い上げの販売店、またはお近くの「ご相談窓口」(別紙)に修理をご依頼ください。	26 57
PAL/NTSC ERR	This type of disc cannot be played. Please eject.	PAL方式のディスクを再生した。 ⇒イジェクトして、ディスクを確認してください。	26
REGION ERR	This disc may not be played in your region Please eject	リージョン番号が「2」または「ALL」以外のディスクを再生した。 ⇒イジェクトして、ディスクを確認してください。	26
NO DISC		チェンジャー(マガジン)にディスクが入っていない。 ⇒ディスクを入れてください。	34
CD・CH-E1- MD・CH-E1- CD・CH-E2- MD・CH-E2-		ディスクが汚れている、または裏返しになっている。 ディスクにキズが入っている。 挿入したMDがデータ用または録音されていない。 ⇒自動的に次のディスクに切り替わります。 ⇒イジェクトして、ディスクを確認してください。	- 26
CD・CH-E3- MD・CH-E3-		何らかの原因で動作しない。 ⇒イジェクトして、ディスクを確認してください。 ⇒イジェクトできないときは、リセットスイッチを押してください。	26 57

E1、E2の前に、エラーとなっているディスクの番号が表示されることがあります。チェンジャーによって内容表示や対応操作が一部異なります。詳しくは、ご使用のチェンジャーの取扱説明書をご参照ください。

# 取り付け・配線の前に

## ⚠ 注意

取り付け・配線は、専門技術者に依頼する



本機の実取り付け・配線には、専門技術と経験が必要です。安全のため、お買い上げの販売店にご依頼ください。

分解や改造をしない



分解禁止

分解や改造、コードの被覆を切って他の電源を取るのはやめてください。発煙・発火、感電や故障の原因になります。

## 取り付け・配線部品の確認

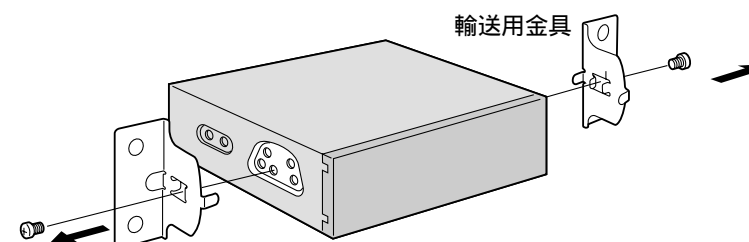
万一、不備な点がございましたら、お買い上げの販売店へお申し付けください。

番号	品名	数量	番号	品名	数量
①	バインドねじ (M5 × 6 mm)	4	⑦	電源コネクター(本体用)	1
②	皿ねじ (M5 × 6 mm)	4	⑧	パワーアンプユニット	1
③	スペーサー	2	⑨	センタースピーカーコード	1
④	両面テープ	2	⑩	圧着式コネクター	1
⑤	マジックテープ	2	⑪	電源コネクター(アンプ用)	1
⑥	座金付きバインドねじ (M5 × 10 mm)	2	⑫	12ピンオーディオコネクター	1

### お願い

必ず、付属のねじをご使用ください。  
取り付け・配線の作業時には、安全のため必ず手袋をご使用ください。

## 輸送用金具をはずす



### お願い

輸送用金具は、付属パワーアンプユニットの実取り付けに使用する場合があります。紛失しないようご注意ください。

# 取り付けかた

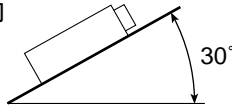
## 取り付け位置について

本機は、上段に取り付けてください。  
ただし、インダッシュモニターと組み合わせる場合は、下段に取り付けてください。

取り付ける位置によっては、本機のパネルがシフトレバー等にあたる場合もあります。販売店にご相談ください。

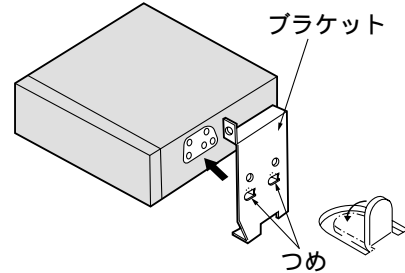
本機に取り付けねじの長さは6 mmです  
必ず、付属ねじ①または②をご使用ください。

性能を十分に発揮するために、  
水平に対して30°以内  
の角度で取り付け  
てください。



車両で使用されているブラケットをご使用ください。

ブラケットに「つめ」がある場合には、ラジオペンチ等で折り曲げて、平らにしてください。

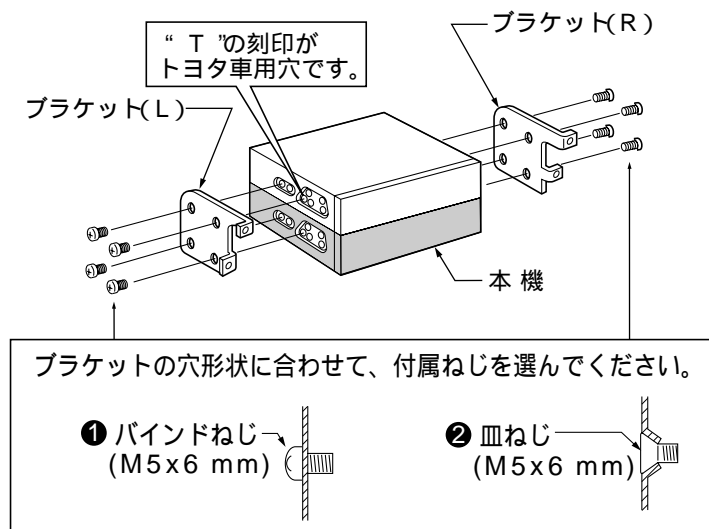


## トヨタ車 (DIN サイズ採用車)

- 1 車両のカーラジオ、小物入れ、それらを止めているブラケットをはずす。
- 2 付属ねじ①または②で、本機にブラケットを取り付ける。
- 3 本機を車両に取り付ける。

### お知らせ

DIN サイズ採用車とはオーディオスペースに通称セット幅180 mm、高さ50 mmサイズが搭載できる車です。  
年式、車種、グレードにより専用キット(別売)が必要な場合があります。販売店にご相談ください。



## 日産・本田・三菱車 (DIN サイズ採用車)

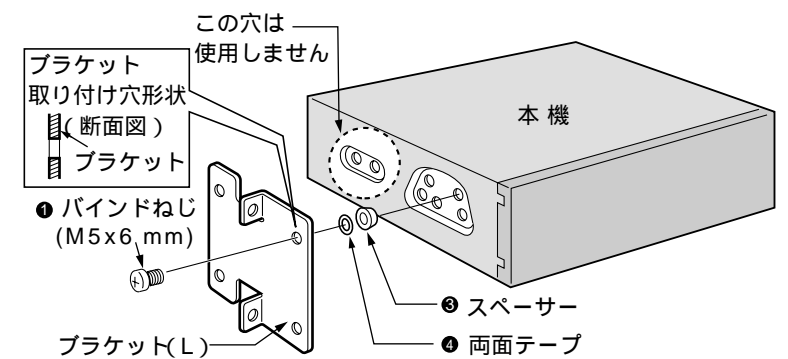
メーカー別の標準取り付けキット(別売)が準備されておりますので、販売店にご相談ください。  
年式、車種、グレードにより専用キット(別売)が必要な場合があります。販売店にご相談ください。

## その他の車 (DIN サイズ採用車)

汎用または車種別に専用キット(別売)が準備されておりますので、販売店にご相談ください。

## スペーサーについて

車両のブラケット取り付け穴形状が右図のような場合には、スペーサーをご使用ください。



## パワーアンプユニットについて

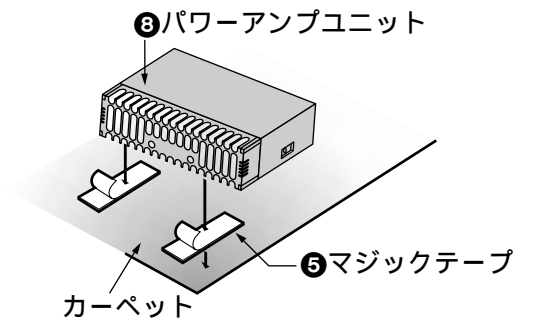
助手席のシート下などに取り付けてください。

マジックテープを使うときは

パワーアンプユニットの底面に貼り付け、  
カーペットの上に取り付けます。

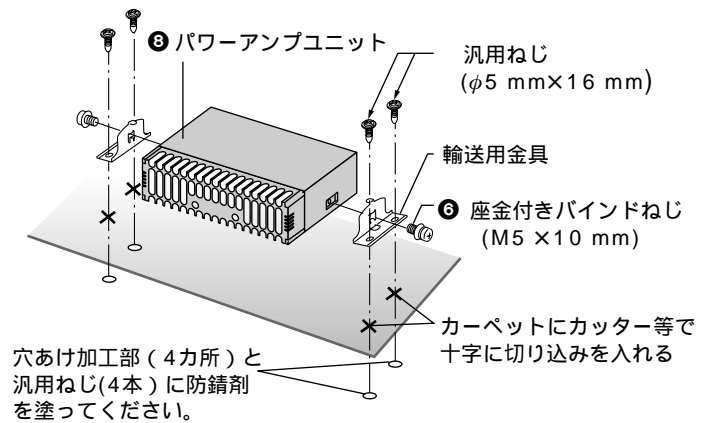
### お知らせ

カーペットの種類によっては、マジックテープで取り付けられないことがあります。  
マジックテープ貼付面の油・水・ほこりなどは取り除いてください。



輸送用金具を使うときは

- ① 付属ねじ⑥で、輸送用金具をパワーアンプユニットに取り付ける。
- ② 輸送用金具の穴に合わせて、車体に3.5 mmの穴を開ける。(4カ所)
- ③ 汎用ねじ(4本)で、パワーアンプユニットを車両に取り付ける。



### お願い

本機を連続して使用すると、パワーアンプユニットが熱くなります。  
上に物などを置いたり、手などで触れたりしないでください。  
故障する恐れがある場所には取り付けないでください。

- ヒーターの吹き出し口の近く
- 直射日光のあたる場所(ダッシュボードやリヤートレイの上など)
- ドアの近くなど、雨水がかかりやすい場所
- 足で踏まれるやすい場所

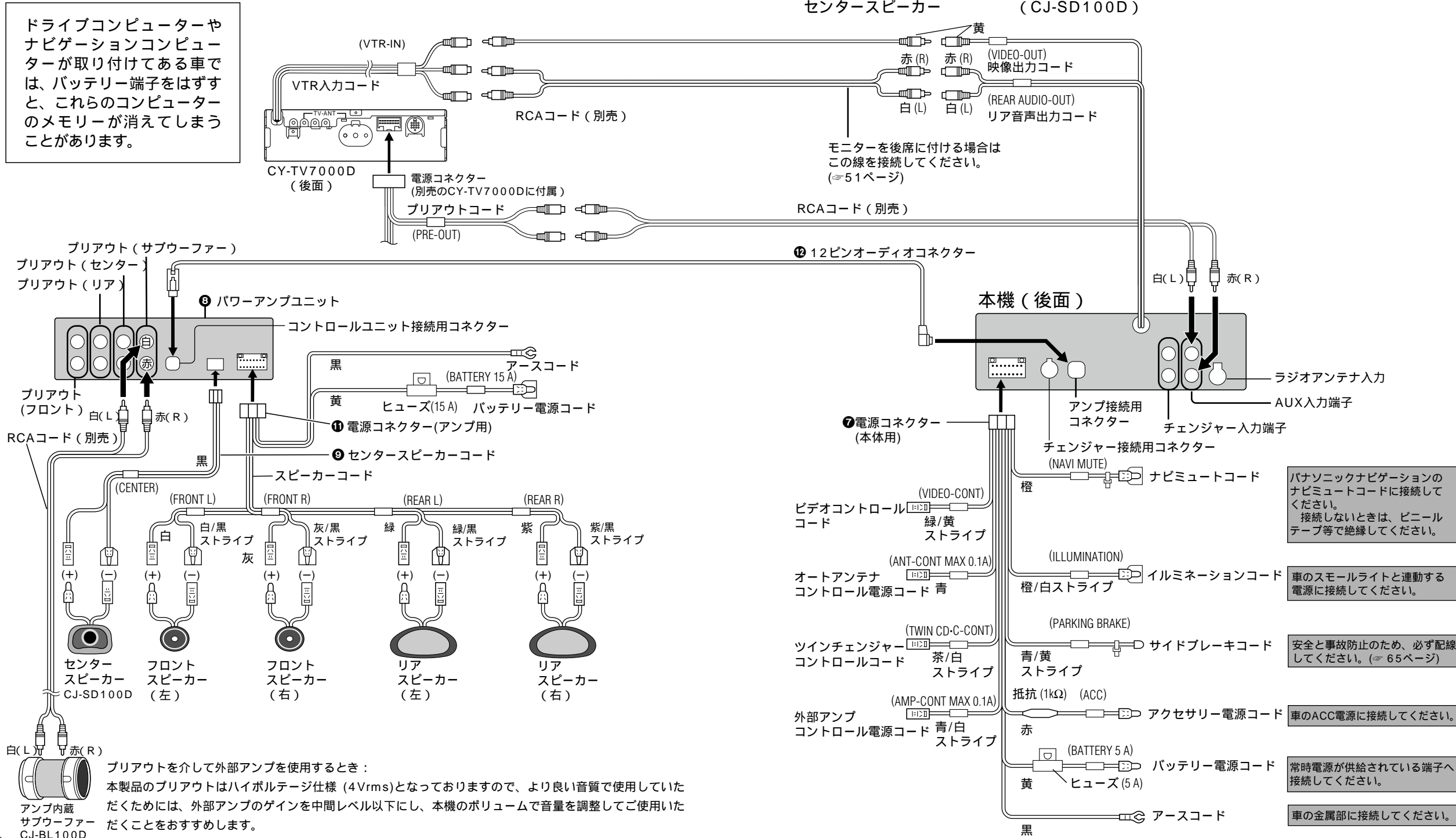
車体に穴をあけるときは、車体のパイプ類や配線などをご確認ください。  
シートをスライドさせたときに、コードがはさまれない場所に取り付けてください。

# 配線のしかた

## 基本配線

配線については、接続する各機器の取扱説明書をよくお読みください。  
スピーカーは各種とりそろえておりますので、お買い上げの販売店にご相談ください。

ドライブコンピューターやナビゲーションコンピューターが取り付けられている車では、バッテリー端子をはずすと、これらのコンピューターのメモリーが消えてしまうことがあります。



パナソニックナビゲーションのナビミュートコードに接続してください。接続しないときは、ビニールテープ等で絶縁してください。

車のスモールライトと連動する電源に接続してください。

安全と事故防止のため、必ず配線してください。(65ページ)

車のACC電源に接続してください。

常時電源が供給されている端子へ接続してください。

車の金属部に接続してください。

必要に応じて

プリアウトを介して外部アンプを使用するとき：  
本製品のプリアウトはハイボルテージ仕様 (4Vrms) となっておりますので、より良い音質で使用していただくためには、外部アンプのゲインを中間レベル以下にし、本機のボリュームで音量を調整してご使用いただくことをおすすめします。

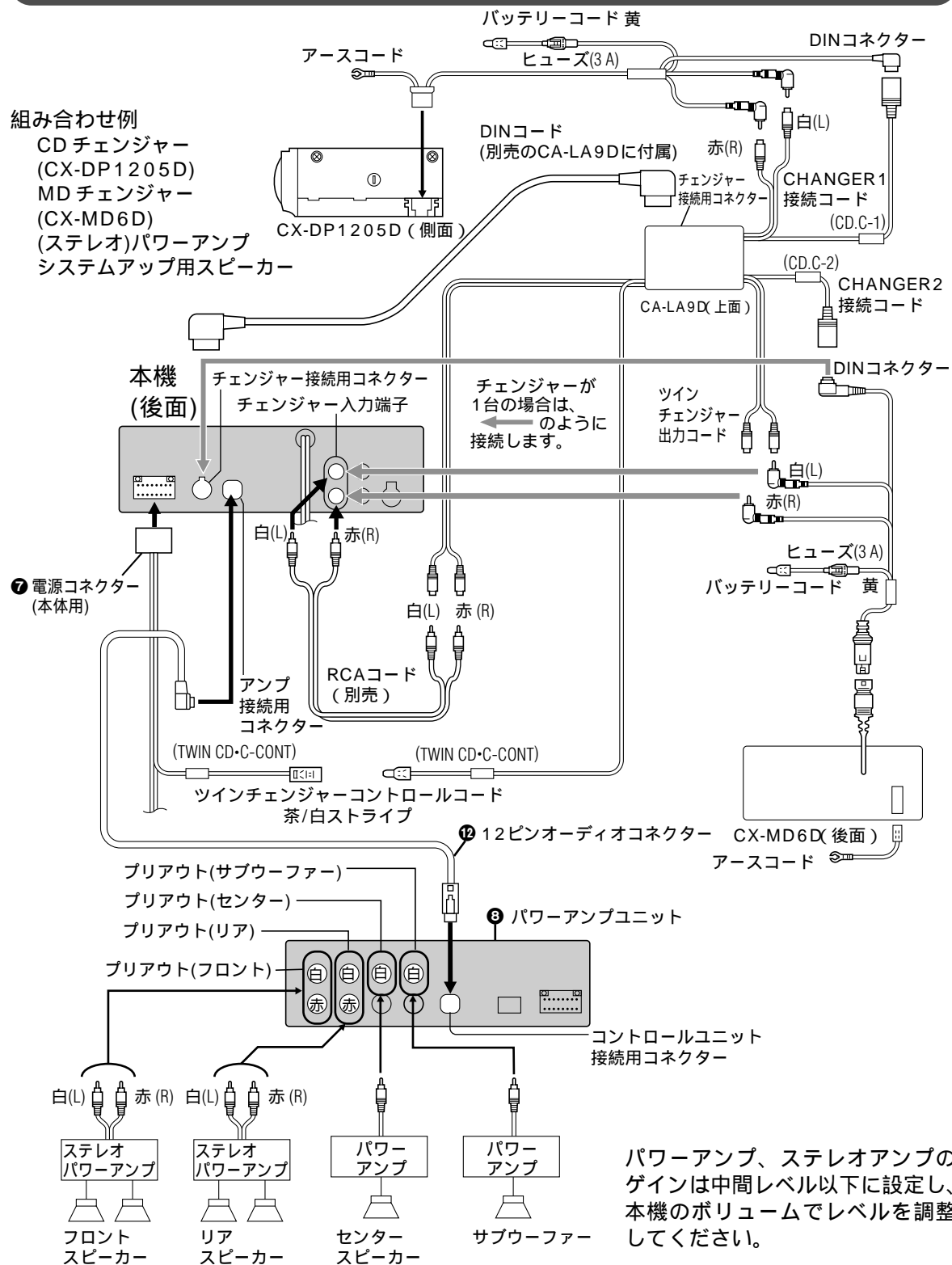


## システムアップ

ツインチェンジャー、システムアップ用スピーカー

組み合わせ例

- CDチェンジャー (CX-DP1205D)
- MDチェンジャー (CX-MD6D)
- (ステレオ)パワーアンプ
- システムアップ用スピーカー



パワーアンプ、ステレオアンプのゲインは中間レベル以下に設定し、本機のボリュームでレベルを調整してください。

## サイドブレーキコード

お願い

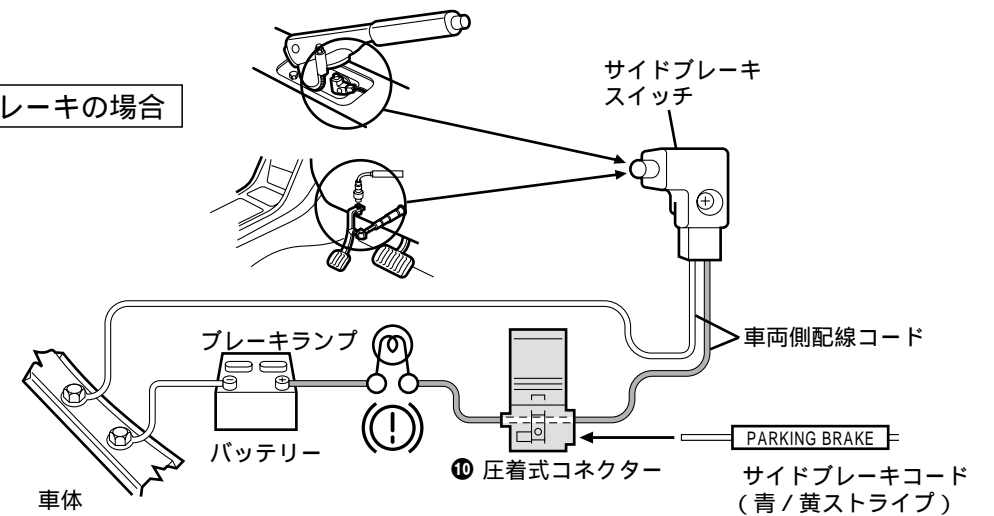
サイドブレーキに対する配線は安全と事故防止のため必ず行ってください。

お知らせ

サイドブレーキスイッチの位置は車によって異なります(下図はその一例)。詳しくは、お買い上げの販売店にご相談ください。

ハンドブレーキの場合

フットブレーキの場合

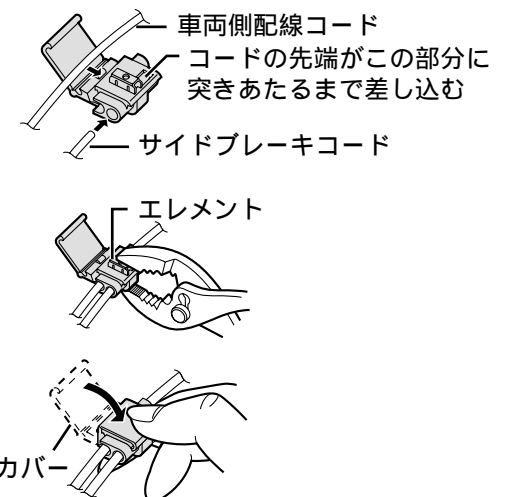


サイドブレーキスイッチから出ている2本のコードのうち、サイドブレーキが解除の状態のとき、車体にアースされていない方のコードに接続してください。

### ⑩ 圧着式コネクターの接続方法

車両側配線コードの適当な位置に取り付けてください。接続するコードが細い場合(0.3 mm<sup>2</sup>以下)には接触が不十分になりますのでご注意ください。

- ① サイドブレーキコードの先端を圧着式コネクターの穴に差し込む。  
車両側配線コードを圧着式コネクターのみぞに通す。
- ② コードが圧着式コネクターから抜けられないよう注意しながらペンチ等でエレメントを押し込む。
- ③ カバーをパチンと音がするまで完全にかぶせる。



# 用語解説

## ドルビーデジタル

ドルビー社の開発したデジタル音声の圧縮技術です。音楽信号を、左フロント、右フロント、センター、左サラウンド、右サラウンド、サブウーファー（0.1チャンネル）の5.1チャンネルに分解して記録・再生します。大量の音声データを効率良くディスクに納めることができるので、ステレオやモノラルといった音声でも、複数言語の収録などのために採用されています。

## ドルビーサラウンド

左フロント、右フロント、センター、モノラルサラウンドの4チャンネル信号を2チャンネルで記録し、それを、ドルビープロロジックデコーダーで解析して再度4チャンネルに出力する方式です。サラウンドチャンネルの出力はモノラルです。

## リニアPCM音声(LPCM)

音楽CDに用いられている信号記録方式です。音楽CDでは、44.1 kHz/16 bitで記録されているのに対し、DVDビデオでは、44.1 kHz/16 bit ~ 96 kHz/24 bitで記録されているので、音楽CDよりも高音質の再生が可能です。

## サンプリング周波数、量子化ビット数

アナログ信号をデジタル信号に変換するとき、一定の時間で信号を区切りデジタル化する(サンプリング)という方法がとられています。1秒間に区切る回数を表したのがサンプリング周波数で、そのときのデータ量の大きさが量子化ビット数です。これらの数字が大きいほど、アナログの音を精密に再現できます。

## タイトル、チャプター

DVDは、いくつかの大きな区切り(タイトル、グループ)と小さな区切り(チャプター、トラック)に分けられています。番号が付いているので、指定してお好きなところから再生できます。

タイトル 1			タイトル 2		
チャプター 1	チャプター 2	……	チャプター 1	……	

## トラック(ビデオCD、音楽CD)

ビデオCDや音楽CDは、いくつかの区切り(トラック)に分けられて、それぞれ番号が付けられています。

トラック 1	トラック 2	トラック 3	トラック……
--------	--------	--------	--------

## パン&スキャン画面

通常サイズ(4:3)のモニターでワイド版の映像を再生したとき、左右の切れた状態で表示される画面のことをいいます。

## レターボックス画面

通常サイズ(4:3)のモニターでワイド版の映像を再生したとき、上下に黒い帯が入った状態で表示される画面のことをいいます。

## プレイバックコントロール(ビデオCD)

パッケージに「プレイバックコントロール対応」などの表記があるものは、モニターに表示されるメニュー画面を見ながら、見たい場面や情報を対話形式で楽しむことができます。

## MPEG

MPEGとはISO(国際標準化機構)とIEC(国際電気標準化会議)の下部組織である動画研究組織(Moving Picture Experts Group)で定めた動画圧縮の国際標準フォーマットです。DVDでは、この方式でデジタル音声を圧縮して記録しているものがあります。

# 言語番号表

操作のしかたは、37ページを参照してください。

番号	言語名	番号	言語名	番号	言語名
6565	アフアル	7365	インターリングア	8285	ロシア
6566	アプハジア	7378	インドネシア	8365	サンスクリット
6570	アフリカーンス	7383	アイスランド	8368	シンド
6577	アムハラ	7384	イタリア	8372	セルボクロアチア
6582	アラビア	7387	ヘブライ	8373	シンハラ
6583	アッサム	7465	日本語	8375	スロバキア
6588	アイマラ	7473	イディッシュ	8376	スロベニア
6590	アゼルバイジャン	7487	ジャワ	8377	サモア
6665	バシキール	7565	グルジア	8378	ショナ
6669	ベロルシア(白ロシア)	7575	カザフ	8379	ソマリ
6671	ブルガリア	7576	グリーンランド	8381	アルバニア
6672	ビハール	7577	カンボジア	8382	セルビア
6678	ベンガル(バングラ)	7578	カナダ	8385	スンダ
6679	チベット	7579	韓国(朝鮮)語	8386	スウェーデン
6682	ブルターニュ	7583	カシミール	8387	スワヒリ
6765	カタロニア	7585	クルド	8465	タミル
6779	コルシカ	7589	キルギス	8469	テルグ
6783	チェコ	7665	ラテン	8471	タジク
6789	ウェールズ	7678	リンガラ	8472	タイ
6865	デンマーク	7679	ラオ	8473	ティグリニア
6869	ドイツ	7684	リトアニア	8475	トルクメン
6890	ブータン	7686	ラトビア(レット)	8476	タガログ
6976	ギリシャ	7771	マダガスカル	8479	トンガ
6978	英語	7773	マオリ	8482	トルコ
6979	エスペラント	7775	マケドニア	8484	タタール
6983	スペイン	7776	マラヤーラム	8487	トウイ
6984	エストニア	7778	モンゴル	8575	ウクライナ
6985	バスク	7779	モルダビア	8582	ウルドゥー
7065	ベルシャ	7782	馬拉ッタ	8590	ウズベク
7073	フィンランド	7783	マライ(マレー)	8673	ベトナム
7074	フィジー	7784	マルタ	8679	ヴォラピュック
7079	フェロー	7789	ビルマ	8779	ウォロフ
7082	フランス	7865	ナウル	8872	コーサ
7089	フリジア	7869	ネパール	8979	ヨルバ
7165	アイルランド	7876	オランダ	9072	中国語
7168	(スコットランド)ゲール	7879	ノルウェー	9085	ズールー
7176	ガリチア	7982	オーリヤ		
7178	グアラニー	8065	バンジャブ		
7185	グジャラト	8076	ポーランド		
7265	ハウサ	8083	バシュト		
7273	ヒンディー	8084	ポルトガル		
7282	クロアチア	8185	ケチュア		
7285	ハンガリー	8277	レトロロマンス		
7289	アルメニア	8279	ルーマニア		

# 仕様

## 共通

電源電圧	: DC12 V ⊖アース (試験電圧 14.4 V)
消費電流	: 8.5 A 以下 (ディスク動作定格出力時)
定格出力	: 18 W×4 ch (1 kHz, 1 %, 4 )
最大出力	: 45 W×4 ch+35 W
適合スピーカーインピーダンス	: 4
音声入力インピーダンス	: 10 k
音声入力感度	: 200 mV (AUX IN)
プリアウト出力電圧	: 4 Vrms
プリアウト出力インピーダンス	: 60
外形寸法 (本体)	: 178×50×155 (mm)
(パワーアンプユニット)	: 150×42×110 (mm) (幅×高さ×奥行き)
質量 (本体)	: 1.65 kg
(パワーアンプユニット)	: 0.65 kg

## チューナー (ラジオ) 部


FM チューナー部	
受信周波数範囲	: 76.0 MHz ~ 89.9 MHz
実用感度	: 11 dBf
全高調波ひずみ率 (モノ)	: 0.3 % (1 kHz)
聴感補正 SN 比 (モノ)	: 60 dB
周波数特性	: 20 Hz ~ 15 kHz, ±3 dB
分離度	: 35 dB (1 kHz)
実効選択度	: 75 dB
AM チューナー部	
受信周波数範囲	: 522 kHz ~ 1629 kHz
実用感度 (S/N 20 dB)	: 28 dB/μV
イメージ妨害比	: 65 dB

## オーディオ部

周波数特性 (LARGE 選択時)	: 20 Hz ~ 44 kHz (96 kHz サンプル周波数 DVD ビデオのみ) 20 Hz ~ 22 kHz (48 kHz サンプル周波数 DVD ビデオのみ) 20 Hz ~ 20 kHz (CD, EIAJ)
ディレイ時間	
ドルビーデジタル	
・センター	: 0 ms ~ 5.3 ms
・サラウンド L/R	: 0 ms ~ 15.9 ms
ドルビープロロジック	
・サラウンド L/R	: 0 ms ~ 15.9 ms
ひずみ率	
フロント L/R (1 kHz, 0 dB, PCM 入力)	: 0.01 %
ダイナミックレンジ	: 100 dB 以上 (EIAJ)
S/N 比	: 100 dB 以上 (EIAJ)

## 映像部

信号形式	: NTSC 日米標準信号方式
映像出力	: 75 Ω, 1 Vp-p

本機は、ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。「DOLBY」、「PRO LOGIC」およびダブル D 記号  はドルビーラボラトリーズの商標です。非公開機密著作物。著作権 1992 - 1997 年 ドルビーラボラトリーズ。不許複製。NAVI は、登録商標です。

製品仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますので、ご了承ください。

# アフターサービスについて

# メモ

## 保証書（別添付）

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。内容をよくお読みのあと、大切に保存してください。

保証期間：お買い上げ日から1年間

## 修理を依頼されるとき

「故障かな!？」の項目に従ってご確認ください。直らないときには電源を切って、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。お買い上げの販売店にご依頼になれない場合には、お近くの「ご相談窓口」(別紙)へご連絡ください。

## 保証期間中は

保証書の規定に従って、お買い上げの販売店が修理をさせていただきます。恐れ入りますが、製品に保証書を添えてお買い上げの販売店にご持参ください。

## 保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理をさせていただきます。

## 補修用性能部品の最低保有期間

補修用性能部品(機能を維持するために必要な部品)の最低保有期間は、製造打ち切り後6年です。

修理・お取り扱いなどのご相談は...  
お買い上げの販売店 または  
お近くの「ご相談窓口」(別紙)へ  
その他のお問い合わせは...  
「お客様相談室」へ

## お客様相談室

0120-50-8729

フリーダイヤル(料金無料)  
受付 9:00 ~ 17:00  
(土・日・祝祭日・弊社休日を除く)

便利メモ（おぼえのため、記入されると便利です。）

お買い上げ日	年 月 日	品番	CQ-DVR7000D
販売店名	☎ ( ) -		
お客様 ご相談窓口	☎ ( ) -		

松下電器産業株式会社  
松下通信工業株式会社 カーシステム事業部

〒224-8539 横浜市都筑区佐江戸町 600 番地

YEFM283706 F0201-0